IPv6対応ブロードバンドルータ DS-RA01

取扱説明書

技術基準適合認証品

このたびは、IPv6 対応ブロードバンドルータ DS-RA01 をご利用いただきまして、まことにありがとうございます。

- ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。
- お読みになった後も、本製品のそばなどいつも手もとに置いてお使いください。
- ご使用の際は取扱説明書にしたがって正しい取り扱いをしてください。
- 本製品の仕様は国内向けとなっておりますので、海外ではご利用できません。
  This equipment is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

安全にお使いいただくために必ずお読みください

この取扱説明書には、あなたや他の人々への危険や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。
その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。本書を紛失または損傷したときは、付属の「プロバイダからのご案内」に記載されているお問い合わせ先にご連絡ください。

本書中のマーク説明

■表示の説明

表示	説明
⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
STOP お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本製品の本来の性能を発揮できなかったり、故障・機能停止を招く内容を示しています。
お知らせ	この表示は、本製品の機能、設定に関する情報提供を示しています。

■お守りいただきたい内容を次の図記号で説明しています。

⚠記号は、注意事項を示しています。

注　意

発火注意

感電注意

⃠記号は、してはいけない内容を示しています。

禁　止

火気禁止

風呂などでの使用禁止

分解禁止

水ぬれ禁止

ぬれ手禁止

●記号は、実行しなければならない内容を示しています。

電源プラグを抜け

ご使用にあたって

- 本製品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因によって、通信などの機会を逸したために生じた損害や万一本製品に登録された情報内容が消失してしまうことなどの純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。本製品に登録された情報内容は、別にメモをとるなどして保管くださるようお願いします。
- 本書に他社製品の記載がある場合、これは参考を目的としたものであり、記載製品の使用を強制するものではありません。
- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、付属の「プロバイダからのご案内」に記載されているお問い合わせ先にご連絡ください。
- この取扱説明書、ハードウェア、ソフトウェアおよび外観の内容について将来予告なしに変更することがあります。
- 本製品に搭載されているソフトウェアの解析（逆コンパイル、逆アセンブル、リバースエンジニアリングなど）、コピー、転売、改造を行うことを禁止します。

本製品の設置にあたって

⚠警告

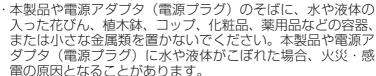
● **本書にしたがって設置、接続してください。**
間違えると接続機器や回線設備が故障や感電などの原因となることがあります。

● **火気のそばへ設置しない**
本製品やケーブル類、電源コード、電源アダプタを熱器具に近づけないでください。
ケースやケーブルの被覆などが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

● **直射日光が当たる場所や温度の高い場所へ設置しない**
直射日光の当たる場所や、温度の高い場所（40℃以上）、発熱する装置のそばに置かないでください。樹脂部分が劣化したり、内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。

● **温度の低い場所へ設置しない**
本製品を製氷倉庫など温度が下がる場所に置かないでください。本製品が正常に動作しなかったり、結露を招いて漏電・感電の原因となることがあります。

● **温度変化の激しい場所（クーラーや暖房機のそばなど）に置かない**
本製品やケーブルの内部に結露が発生し、火災・感電の原因となります。

● **水のかかる場所へ設置しない**
水のかかる場所で使用したり、水にぬらすなどして使用しないでください。漏電して、火災、感電の原因となります。
- 本製品や電源アダプタ（電源プラグ）、ケーブル、モジュラージャックに水が入ったりしないよう、また、ぬらさないようにご注意ください。漏電して火災・感電の原因となります。
- 風呂場やシャワー室などでは使用しないでください。漏電して、火災・感電の原因となります。
- 本製品や電源アダプタ（電源プラグ）のそばに、水や液体の入った花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬用品などの容器、または小さな金属類を置かないでください。本製品や電源アダプタ（電源プラグ）に水や液体がこぼれた場合、火災・感電の原因となることがあります。

● **湿度の高い場所へ設置しない**
風呂場や加湿器のそばなど、湿度の高い場所（湿度 80%以上）では設置および使用はしないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。

⚠警告

● 本製品を安全に正しくお使いいただくために、**次のような場所への設置は行わない**でください。火災・感電の原因となることがあります。

・ほこりや振動が多い場所
・気化した薬品が充満した場所や、薬品に触れる場所、亜硫酸ガス、アンモニアなどの腐食性ガスが発生する場所
・油飛びや湯気の当たる場所（調理台のそばなど）
・屋外や塩水がかかる場所
・振動が強いところ

● **自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くに設置しない**
本製品の無線 LAN 機能をご利用の場合は、自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くに置かないでください。本製品からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因となることがあります。

● 本製品は家庭用の電子機器として設計されております。**人命に直接かかわる医療機器や、極めて高い信頼性を要求されるシステム**（幹線通信機器や電算機システムといった社会インフラ、有毒ガスなどの気体排出・排煙装置、消防法・建築基準法など特に各種法律にそって設置しなければならない装置など）**では使用しない**でください。人が死亡、または重傷を負う可能性があり、社会的に大きな混乱が発生する恐れがあります。

● 本製品は、**高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器や心臓ペースメーカなどの近くに設置したり、近くで使用したりしない**でください。電子機器や心臓ペースメーカなどが誤動作するなどの原因となることがあります。また、医療用電子機器の近くや病院内など使用を制限された場所では使用しないでください。

● **横置き・重ね置き・逆さま置きを行わない**
本製品を横置きや重ね置きしないでください。横置きや重ね置き、逆さま置きをすると内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

● **異物を入れない**
・本製品やケーブル、モジュラージャックの上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器、または小さな貴金属を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合火災、感電の原因となります。
・本製品の隙間から虫が入ると、故障・発煙・発火の原因となることがあります。虫が入らないように屋内の虫のいない場所でご使用ください。

⚠警告

- **本製品は、お子様やペットなどが触れられない場所に設置してください。**お子様が製品で遊んだり、ペットがコードなどを噛んだりして、感電や火災の恐れがあります。

- **電源アダプタは風通しの悪い狭い場所（収納棚や本棚の後ろなど）に設置しない**でください。過熱し、火災や破損の原因となることがあります。

- 電源アダプタ本体を宙吊りに設置しないでください。電源プラグと電源コンセント間に隙間が発生し、ほこりによる火災が発生する可能性があります。電源アダプタ（電源プラグ）は容易に抜き差し可能な電源コンセントに差し込んでください。

- **本製品や電源アダプタ（電源プラグ）を次のような環境に置かない**でください。火災･感電･故障の原因となることがあります。
  - ･**屋外、直射日光が当たる場所、暖房設備やボイラーの近くなどの温度が上がる場所**
  - ･**調理台のそばなど、油飛びや湯気の当たるような場所**
  - ･**湿気の多い場所や水・油・薬品などのかかる恐れがある場所**
  - ･**ごみやほこりの多い場所、鉄粉、有毒ガスなどが発生する場所**
  - ･**製氷倉庫など、特に温度が下がる場所**

⚠注意

- **不安定な場所への設置しない**
ぐらついた台の上や傾いた場所、振動、衝撃の多い場所など、不安定な場所に置かないでください。また、本製品の上に重い物を置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

- 本製品を壁に取り付けるときは、本製品の重みにより**落下しないようしっかりと取り付け設置してください。**落下して、けが･破損の原因となることがあります。

- **縦置きの場合はスタンドを取り付けて設置してください。**また、壁掛け設置をする場合には、付属の壁掛け設置用ネジを使用し、背面が下になるように設置してください。転倒、落下により、けが、故障の原因となることがあります。

お願い

- この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。VCCI-B
- 無線LANアクセスポイントと無線LAN端末の距離が近すぎるとデータ通信でエラーが発生する場合があります。1 m以上離してお使いください。
- 本製品とコードレス電話機や電子レンジなどの電波を放射する装置との距離が近すぎると通信速度が低下したり、データ通信が切れる場合があります。また、コードレス電話機の通話にノイズが入ったり、発信・着信が正しく動作しない場合があります。このような場合は、お互いを数メートル以上離してお使いください。
- 電子レンジ付近、静電気や電波障害の発生する場所、金属ドアで遮断された部屋などでは、ご使用にならないでください。使用環境により、電波が届かない場合があります。
- 本製品を電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びている場所や電磁波が発生している場所に設置しないでください。（電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、蛍光灯、電気こたつ、インバータエアコン、電磁調理器など）
  - ・テレビ、ラジオ、コードレス電話機などに近いと受信障害やテレビ画面の乱れが生じることがあります。
  - ・消費電力の大きな機器（コピー機、シュレッダー、空調機器、大型プリンタなど）と同じコンセントからは、電源をとらないでください。誤動作する可能性があります。
  - ・磁石、スピーカ、テレビ、磁気ブレスレットなど磁気を発するものの近くで使用しないでください。故障・誤動作の原因となります。
  - ・特定無線局や移動通信体のある屋内で使用しないでください。
  - ・盗難防止装置など2.4 GHz周波数帯域を利用している装置のある屋内で使用しないでください。
  - ・高周波雑音を発生する高周波ミシン、電気溶接機などが近くにある場所で使用しないでください。

電源アダプタを取り付けるにあたって

⚠警告

● **電源コードを傷付けない**
付属の電源コード以外を使用したり、付属の電源コードを他の製品に使用したりしないでください。火災・感電の原因となります。また、電源コードを傷付けたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないでください。火災・感電の原因となります。重い物を載せたり、机、家具などでつぶしたり、ドアなどにはさんだり、クギやステープルで固定したり、加熱したりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。もし、電源コードが傷付いたときは、付属の「プロバイダからのご案内」に記載されているお問い合わせ先にご連絡ください。

● **延長コードを使わない**
電源アダプタ（電源プラグ）のコードには、延長コードは使わないでください。火災の原因となることがあります。

● **たこ足配線をしない**
本製品の電源コードは、たこ足配線にしないでください。たこ足配線にするとテーブルタップなどが過熱・劣化し、火災の原因となります。

● **電源プラグは、AC100V コンセントの奥まで確実に差し込んでください。**奥までに差し込んでいないと、隙間などにホコリがたまり、トラッキング現象などで火災･感電の恐れがあります。

● 本製品の電源アダプタと他のプラグをコンセントに隣接して差し込む場合は、**それぞれのプラグに無理な力がかからないように差し込んでください。**火災、感電の原因となります。

● **規定電源以外の電源を使わない**
AC100 V（50/60 Hz）の商用電源以外では絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となります。差込口が 2 つ以上ある壁などの電源コンセントに他の電気製品の電源アダプタ（電源プラグ）を差し込む場合は、合計の電流値が電源コンセントの最大値を超えないように注意してください。火災・感電の原因となります。

● **プラグの取り扱いを慎重に行う**
電源アダプタ（電源プラグ）は電源コンセントに確実に差し込んでください。抜くときは､必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷付き、火災・感電の原因となることがあります。電源アダプタ（電源プラグ）の金属部に金属などが触れると火災、感電の原因となります。

⚠警告

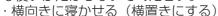
● **付属の電源アダプタ以外を使用したり、付属の電源アダプタを他の製品に使用したりしない**でください。火災・感電の原因となることがあります。また、電源アダプタに物を載せたり掛けたりしないでください。過熱し、火災・感電の原因となることがあります。

ご使用にあたって

⚠警告

● **ぬれた手で操作をしない**
ぬれた手で本製品や電源アダプタ（電源プラグ）、ケーブル、モジュラージャックを操作したり、接続したりしないでください。感電の原因となります。

● **航空機内や病院内などの無線機器の使用を禁止された区域では、本製品の電源を切ってください。**電子機器や医療機器に影響を与え、事故の原因となります。

● **通風孔をふさがない**
本製品の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。次のような使いかたはしないでください。
・横向きに寝かせる（横置きにする）
・収納棚や本棚などの風通しの悪い狭い場所に押し込む
・じゅうたんやふとんの上に置く
・テーブルクロスなどを掛ける
・毛布やふとんをかぶせる

● **落雷の恐れがあるときは、電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いてご使用をお控えください。**落雷時に、火災、感電、故障の原因となることがあります。雷が鳴りだしたら、電源コードに触れたり、周辺機器の接続をしたりしないでください。落雷による感電の原因となります。

● **落としたり、強い衝撃を与えないでください。**故障や感電、火災の原因となることがあります。

● **小さな部品（カバー、キャップ、ネジなど）は、幼児の手の届かないところに保管**してください。誤って飲み込むと窒息の恐れがあります。万一、飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。

⚠警告

● **通電中の本体や電源アダプタにふとんをかけたり、暖房器具の近くやホットカーペットの上に置かない**でください。製品の内部温度が上昇し、火災・やけど・故障の恐れがあります。

● **通電中の製品本体や電源アダプタに長時間素肌が直接触れない**ようにしてください。長い間触れていると、低温やけどになる恐れがあります。

● ステープル、クリップなどの**金属類を内部に入れない**でください。ショートし、発煙・発火の恐れがあります

● **本体を使用中に他の機器に電波障害などが発生した場合は電源アダプタをコンセントから抜き、電源を切ってください。**電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となる恐れがあります。また、使用中、異常（過熱、発煙、発火など）が発生した場合も、すみやかに本体の電源を切ってください。

※データなどが失われる可能性がありますが、火災、感電など人身傷害につながりえる事故の防止のため電源アダプタをコンセントから抜き、電源を切ってください

● **本製品の上に物を乗せたり、物を落としたりしない**でください。破損・故障の原因や感電・発火の原因となります。

⚠注意

● **本製品の上に乗らない**

本製品の上に乗らないでください。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。壊れてけがの原因となることがあります。

● 火災・地震などが発生した場合、本製品の状態を確認し、**異常が認められた場合には、すみやかに本製品の電源アダプタをコンセントから抜いて電源を切り、付属の「プロバイダからのご案内」に記載されているお問い合わせ先にご連絡ください。**故障の恐れがあります。

STOP お願い

● 動作中にケーブル類が外れたり、接続が不安定になると誤動作の原因となり、大切なデータを失うことがあります。動作中は、コネクタの接続部には絶対に触れないでください。

● 本製品は家庭用の電子機器として設計されております。本製品にパソコンなどの電子機器を非常に多く接続し、通信が集中した場合に、本製品が正常に動作できない場合がありますのでご注意ください。

移動・清掃・メンテナンスにあたって

⚠警告

● 電源アダプタ（電源プラグ）の清掃
電源アダプタ（電源プラグ）と電源コンセントの間の**ほこりは、定期的（半年に1回程度）に取り除いてください。**火災の原因となることがあります。清掃の際は、必ず電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いてください。火災・感電の原因となることがあります。

● **移動させるときは、電源アダプタをコンセントから抜く**
移動させる場合は、電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜き、外部の接続線を外したことを確認のうえ、行ってください。コードが傷付き、火災・感電の原因となることがあります。

● 本製品の**お手入れをする際は、安全のため必ず電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いて行ってください。**感電などの恐れがあります。

● 分解・改造の禁止
本製品を絶対に**分解・改造しない**でください。火災・感電の原因となります。

お願い

● 本製品の電源アダプタ（電源プラグ）の抜き差しをする場合は、電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いてから、10 秒以上空けてから差し込んでください。

● 本製品が汚れた場合、乾いた柔らかい布でふき取ってください。汚れのひどいときは、中性洗剤を含ませた布でふいた後、乾いた布でふき取ってください。化学ぞうきんの使用は避けてください。ただし、コネクタ部分はよくしぼった場合でもぬれた布では、絶対にふかないでください。ベンジン、シンナーなどの有機溶剤、アルコールは絶対に使用しないでください。変形や変色の原因となります。

● 本製品に殺虫剤などの揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール、粘着テープなどを長時間接触させないでください。変形や変色の原因となることがあります。

● 移動時に落とす、ぶつけるなどの強いショックを与えないでください。誤動作したり、故障することがあります。

● 輸送中の破損防止のため、ご購入時の梱包箱と梱包材をご使用ください。

保管にあたって

⚠警告

● 本製品を梱包しているビニール袋などの包装材料はお子様の手の届かないところに保管してください。口に入れたり、頭からかぶるなどして窒息の恐れがあります。

● 長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いてください。

本製品の機能について

通信に関する事項

● お客様宅内での接続環境により、最大通信速度が得られない場合や、通信速度が変動する状態または通信が利用できない状態となる場合があります。

● インターネットをご利用の場合、ネットワークを介して外部からの不正侵入および情報漏洩などの危険が増えます。必要に応じて、お客様のパソコン上にファイアウォールのソフトウェアをインストールするなどの対応をお願いします。

無線 LAN に関する事項

● 最大 300 Mbit/s（規格値）や最大 54 Mbit/s（規格値）、最大 11Mbit/s（規格値）は、IEEE802.11 の無線 LAN 規格の理論上の最大値であり、実際のデータ転送速度（実効値）を示すものではありません。

● 無線 LAN の伝送距離やスループットは、周囲の環境条件（通信距離、障害物・電子レンジなどの電波環境要素、使用するパソコンの性能、ネットワークの使用状況など）により大きく変動します。

● IEEE802.11b 、IEEE802.11g および IEEE802.11n を使用する機器が混在している場合は、IEEE802.11n を使用する機器のスループットが著しく下がることがあります。

● IEEE802.11n 通信を行うためには、無線 LAN 端末の無線の暗号化を「暗号化なし」「WPA-PSK（AES)」または「WPA2-PSK（AES)」（推奨）に設定する必要があります。

お知らせ

ファームウェア更新に関する事項

- 本製品は、ファームウェアを常に最新の状態に保つため、最新のファームウェアが確認されると、あらかじめ設定された時間帯に合わせて、自動的にファームウェアの更新を行います。
  （詳しくは「8 章 本製品のバージョンアップについて」を参照してください。）なお、ファームウェアの自動更新については、以下の点にご注意ください。
  ・ファームウェア更新の際、全ての接続が切断されます。インターネットや映像コンテンツ視聴などの各サービスをご利用中に、ファームウェアの更新が実行される場合がありますのでご注意ください。
  ・ファームウェアの自動更新が実行されると、ご利用中のインターネットや映像コンテンツ視聴などの各サービスが中断される場合があります。ファームウェアの更新が終了するまでしばらくお待ちください。

お客様情報に関する事項

- 本製品は、お客様固有のデータを登録または保持可能な製品です。本製品内のデータが流出すると不測の損害を受ける恐れがありますので、データの管理には十分お気を付けください。
- 本製品の初期化は、付属の「らくらく接続・設定ガイド」または「10-4 本製品の初期化」に記載された初期化方法の手順にしたがって実施してください。

ご利用前の注意事項

電波に関するお知らせ

無線 LAN 機器の電波に関するご注意

本製品は、2.4GHz 帯域の電波を使用しています。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される移動体識別用構内無線局、および免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局等（以下、「他の無線局」と略す）が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合は、速やかに本製品の使用チャネルを変更するか、使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. その他、電波干渉の事例が発生し、何かお困りのことが起きた場合には、付属の「プロバイダからのご案内」に記載されているお問い合わせ先にご連絡ください。

- 本製品は、日本国内でのみ使用できます。
- 次の場所では、電波が反射して通信できない場合があります。
  - ・強い磁界、静電気、電波障害が発生するところ（電子レンジ付近など）
  - ・金属製の壁（金属補強材が中に埋め込まれているコンクリートの壁も含む）の部屋
  - ・異なる階の部屋同士
- 本製品と同じ無線周波数帯の無線機器が、本製品の通信可能エリアに存在する場合、転送速度の低下や通信エラーが生じ、正常に通信できない可能性があります。
- 本製品をコードレス電話機やテレビ、ラジオなどをお使いになっている近くで使用するとそれらの機器に影響を与える場合があります。
- 本製品は、技術基準適合認証を受けていますので、以下の事項を行うと法律で罰せられることがあります。
  - ・本製品を分解／改造すること
- 本製品は､他社無線機器やパソコン内蔵の無線との動作を保証するものではありません。
- 本製品は 2.4GHz 全帯域を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域が回避可能です。変調方式として DS-SS 方式および OFDM 方式を採用しており、想定干渉距離は 40m です。

本製品に表示した 2.4 DS/OF4 ▬ ▬ ▬ は、次の内容を示します。

2.4	使用周波数帯域	2.4 GHz 帯
DS/OF	変調方式	DS-SS 方式および OFDM 方式
4	想定干渉距離	40 m 以下
▬ ▬ ▬	周波数変更の可否	全帯域を使用し、かつ、移動体識別装置の帯域を回避可能であること

無線 LAN 製品ご使用時におけるセキュリティに関するお知らせ（お客様の権利（プライバシー保護）に関する重要な事項です）

無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコンなどと無線 LAN アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁など）を越えて全ての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

●通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、ID やパスワードまたはクレジットカード番号などの個人情報、メールの内容などの通信内容を盗み見られる可能性があります。

●不正に侵入される

悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）、特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流したり、傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）、コンピュータウィルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線 LAN カードや無線 LAN アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線 LAN 製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。

無線 LAN 機器は、工場出荷状態においては、セキュリティに関する設定が行われていない場合があります。したがって、お客様がセキュリティ問題発生の可能性を少なくするためには、無線 LAN カードや無線 LAN アクセスポイントをご使用になる前に、必ず無線 LAN 機器のセキュリティに関する全ての設定を本書ならびに付属の専用 CD-ROM に収録されている「機能詳細ガイド」の「無線 LAN 機能」を参照して行ってください。

なお、無線 LAN の仕様上、特殊な方法によりセキュリティ設定が破られることもありえますので、ご理解のうえ、ご使用ください。

セキュリティの設定などについて、ご不明な点があれば、付属の「プロバイダからのご案内」に記載されているお問い合わせ先にご連絡ください。

当社では、お客様がセキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解したうえで、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお勧めします。

セキュリティ対策を行わず、あるいは、無線 LAN の仕様上やむをえない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社はこれによって生じた損害に対する責任は一切負いかねますのであらかじめご了承ください。

目次

マニュアルの読み進めかた

本製品のマニュアルは下記のように構成されています。ご利用の目的に合わせてお読みください。

- ●はじめにご確認ください
  本製品の構成、注意などを記載しています。ご使用前に必ずお読みください。
- ●らくらく接続・設定ガイド
  本製品の接続や使用方法についてわかりやすく説明しています。
- ●取扱説明書（CD-ROM：本書 PDF ファイル）
  本製品の接続のしかた、インターネット接続の設定方法、無線 LAN の設定方法などを記載しています。
- ●機能詳細ガイド（CD-ROM：HTML ファイル）
  本製品の機能や設定方法をより詳しく記載しています。より高度な機能をご使用になる場合にお読みください。

■取扱説明書（本書）の読み進めかた

本製品を使用してインターネットに接続するまでの流れは下記のようになります。
無線 LAN を利用する場合は「5章 無線 LAN でパソコンを接続する」または「10-2 パソコンの無線 LAN の設定について」を参照してください。

セット内容を確認をします。

▼

本製品を設置します。

▼

本製品を接続します。

▼

接続端末の設定をします。

▼

本製品の設定をします。

※ 本書で説明に使用している画面表示は一例です。お使いの Web ブラウザやお使いの OS バージョンによって異なります。

「機能詳細ガイド」の見かた

1 「専用 CD-ROM」をパソコンにセットする

2 Web ブラウザ（Internet Exprlorer® など）を起動して「機能詳細ガイド」のファイルを開く、または「menu.html」から「機能詳細ガイドを見る」をクリックする。

付属の専用 CD-ROM は日本語版 OS 以外の動作保証はしていません。
付属の専用 CD-ROM はバックアップとして保有する場合に限り、複製することができます。また、いかなる改変も禁止とし、それに起因する障害について当社は一切の責任を負いません。

「機能詳細ガイド」目次

付属の専用 CD-ROM には、本製品の詳細な機能について説明した「機能詳細ガイド」がHTMLファイルで収録されています。ここではその概要を示します。「機能詳細ガイド」の見かたについては取扱説明書に収録されたマニュアルの読み進めかたをご覧ください。

機能説明

機能一覧

●ルータ機能

＜ IPv6/IPv4 共通機能＞
- パケットフィルタリング
- SPI（ステートフル・パケット・インスペクション）
- DHCP サーバ
- DNS Proxy
- UPnP

＜ IPv4 機能＞
- NAPT
- 静的 NAPT
- 静的 NAT
- LAN 側静的ルーティング

●無線機能
- ・IEEE802.11b 無線 LAN
- ・IEEE802.11g 無線 LAN
- ・IEEE802.11n 無線 LAN
- ・デュアルチャネル
- ・暗号化
- ・MAC アドレスフィルタリング
- ・無線ネットワーク名（SSID）によるセキュリティ機能
- ・ESSID ステルス機能
- ・マルチ SSID
- ・自動無線チャネル設定
- ・無線 LAN 簡単接続機能（WPS 機能）
- ・ポートセパレート
- ・電波強度測定

●WAN 側機能
- ・PPPoE マルチセッション
- ・PPP キープアライブ
- ・無通信監視タイマ
- ・VPN パススルー（IPv4）
- ・PPPoE ブリッジ
- ・IPv4 ブリッジ
- ・IPv6 over IPv4 トンネル機能
- ・ローカルルータ機能（IPv4）

●その他の機能
- ・機器設定用パスワードの変更
- ・ファームウェア更新
- ・ファームウェア情報表示
- ・情報表示（装置情報、状態表示）
- ・ログ機能

Web 設定について

『Web 設定』の使い方
- ・起動のしかた
- ・トップページ
- ・設定のしかた

●基本設定
- ・動作モード設定
- ・接続先設定

＜ IPv6 動作モード＞
- ・PPPoE ルータ
- ・IPv6 over IPv4 トンネルルータ

＜ IPv4 動作モード＞
- ・ブリッジ
- ・PPPoE ルータ
- ・ローカルルータ

●無線 LAN 設定
- ・無線 LAN 設定
- ・MAC アドレスフィルタリング
- ・無線 LAN 端末設定
- ・無線 LAN 簡単セットアップ

●詳細設定
- ・DNS 設定
- ・DHCPv4 サーバ設定
- ・セキュリティ設定
  - SPI 設定
  - IPv6 パケットフィルタ設定
  - IPv4 パケットフィルタ設定
- ・静的 NAPT 設定
- ・静的 NAT 設定
- ・LAN 側静的ルーティング設定
- ・ポリシールーティング設定
- ・高度な設定

●メンテナンス
- 機器設定用パスワードの変更
- 時刻設定
- 設定値の保存＆復元
- 設定値の初期化
- ファームウェア更新
- PING テスト
- 機器再起動
- UPnP NAT 情報消去
- ログ保存

●情報
- 現在の状態
- 装置ログ
- DHCP クライアント取得情報
- DHCPv4 サーバ払出し状況
- DHCPv6 サーバ払出し状況
- 更新ログ
- 通信ログ
- 経路情報取得ログ
- セキュリティログ
- UPnP ログ
- UPnP NAT 設定情報
- 無線 LAN 情報

無線機能の使いかた

無線機能の使い方

●無線機能
- 無線 LAN セキュリティ

＜「Web 設定」で設定する＞

●無線 LAN 設定
- 無線 LAN 設定
- MAC アドレスフィルタリング
- 無線 LAN 端末設定
- 無線 LAN 簡単セットアップ

設定例

外部にサーバを公開する（IPv4 編）

＜パソコンの設定＞

Windows® 7 の場合
Windows Vista® の場合
Windows® XP の場合
Mac OS の場合

＜本製品の設定＞

「Web 設定」で設定する

外部にサーバを公開する（IPv6 編）

＜パソコンの設定＞

Windows® 7 の場合
Windows Vista® の場合
Windows® XP の場合
Mac OS の場合

＜本製品の設定＞

「Web 設定」で設定する

PPPoE マルチセッション環境でサーバを公開するには

ネットワークゲームをするには（IPv4）

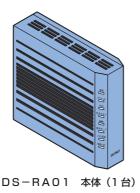
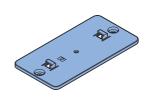
用語集

- 用語集

1 最初に確認する

1-1 セット内容の確認

■本体

DS－RA01　本体（1 台）

スタンド（1 台）

■付属品

LAN ケーブル
（1 本／約 1 m／紫）

LAN ケーブル
（1 本／約 1.5 m ／橙）

電源アダプタ（1 式）
※電源アダプタと電源コードが分離している場合は、電源コードを電源アダプタに奥まで確実に差し込んでお使いください。

専用 CD-ROM（1 枚）
※取扱説明書および機能詳細ガイドが収録されています。

はじめにご確認ください
（1 枚）

らくらく接続・設定ガイド
（1 枚）

無線注意ラベル
（1 枚）

壁掛用ネジ
（2 本）

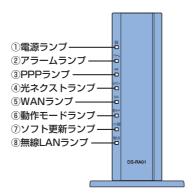
プロバイダからのご案内

保証書
（1 枚）

●色やデザイン、形状はイラストと異なる場合があります。
●セットに足りないものがあった場合などは、付属の「プロバイダからのご案内」に記載されているお問い合わせ先にご連絡ください。

1-2 各部の名前

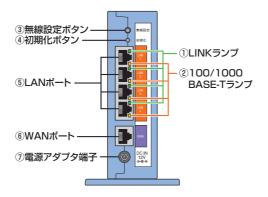
本製品各部の名前および機能を説明します。

●前面

【ランプ表示】

名称	表示（色）		状態
①電源	ー	消灯	電源が入っていません。
	緑	点灯	電源が入っています。
②アラーム	ー	消灯	正常な状態です。
	赤	点灯	ソフトウェア更新中または装置障害です。
③ PPP	ー	消灯	オフライン状態です。
	緑	点灯	1 つの PPP セッションが接続中です。
	橙	点灯	2つ以上の PPP セッションが接続中です。
④光ネクスト	ー	消灯	フレッツ光ネクスト回線以外に接続されているか、WAN 回線が接続されていません。
	緑	点灯	フレッツ光ネクスト回線に接続されています。
⑤ WAN	ー	消灯	WAN 回線が利用できません。
	緑	点灯	WAN 回線が利用できます。
		点滅	WAN 回線でデータ通信中です。
⑥動作モード	緑	点灯	フレッツ光ネクスト優先モードが設定されています。
	橙	点灯	インターネット優先モードが設定されています。
		点滅	工場出荷状態（初期化された状態）です。
⑦ソフト更新	ー	消灯	ソフトウェア更新がありません。
	橙	点灯	ソフトウェア更新があります。
⑧無線 LAN	ー	消灯	無線 LAN が使用できません。（無線機能 OFF）
	緑	点灯	無線 LAN が使用できます。（無線機能 ON）
	橙	点灯	「無線 LAN 簡単接続機能（WPS 機能）」で設定が完了しました。
		点滅	「無線 LAN 簡単接続機能（WPS 機能）」で設定するための通信中です。
	赤	点滅	「無線 LAN 簡単接続機能（WPS 機能）」で設定に失敗しました。

 お知らせ

- ●本製品に電源を入れた際、全ランプが一度点灯します。
- ●ファームウェアの書き込み時にアラームランプが赤く点灯、かつソフト更新ランプが橙に点灯します。

●背面

【ランプ表示】

名称	表示（色）		状態
①LINK ランプ（4 個）	−	消灯	LAN が利用できません。
	緑	点灯	LAN が利用できます。
		点滅	LAN でデータ通信中です。
②100/1000BASE-T ランプ（4 個）	−	消灯	10 Mbps でデータ送受信できます。
	橙	点灯	1 Gbps/100 Mbps でデータ送受信できます。

【ポート名など】

名称	表示	機能説明
③無線設定ボタン	無線設定	「無線 LAN 簡単接続機能（WPS 機能）」の設定をするためのボタンです。
④初期化ボタン	初期化	設定を初期化するためのボタンです。
⑤LAN ポート	LAN1 〜 4	LAN ケーブル（付属品など）を使用してパソコンや通信機器などと接続するためのポートです。
⑥WAN ポート	WAN	付属の LAN ケーブル（紫）を使用して回線終端装置（ONU）／ VDSL モデムまたはひかり電話対応機器（ひかり電話ルータ、ホームゲートウェイ）などの LAN ポートと接続するためのポートです。
⑦電源アダプタ端子	DC IN 12V	電源アダプタのコードを差し込みます。

1-3 あらかじめ確認してください

お客さまにご用意いただくもの

● **インターネット接続および、設定変更に必要なもの**
- LAN ポートを搭載、無線 LAN 子機を接続（装着）、無線 LAN 内蔵のいずれかのパソコン
- プロバイダとの契約時に入手した接続情報の書類
  ※ 認証 ID［接続 ID など］および認証パスワード［接続パスワード など］が記載されたもの
- ひかり電話ルータまたはホームゲートウェイ／ ONU ／ VDSL モデムなど接続に必要な機器
- 本製品付属の「プロバイダからのご案内」

パソコンの準備

● LAN ポートまたは無線 LAN が搭載されているパソコンの準備
本製品と有線 LAN で接続する端末機器（パソコンなど）には、LAN ポート（1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T）が必要です。お使いのパソコンなどに LAN ポートがない場合は、1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T 対応の LAN ボードまたは LAN カードをあらかじめご準備ください。LAN ボードまたは LAN カードの取り付けとドライバのインストールは、LAN ボードまたは LAN カードの取扱説明書などにしたがって正しく行ってください。
本製品と無線 LAN で接続する端末機器 (パソコンなど) には、IEEE802.11n、IEEE802.11b、IEEE802.11g に対応していることが必要です。
本製品が使用している通信規格と同様の通信規格の無線 LAN 内蔵端末のみ使用できます。
※ 無線 LAN で通信可能な範囲は環境によって異なります。
※ 端末の機種により、機能制限があったり、接続できない場合があります。

● ファイアウォールなど、全てのソフトウェアの終了
本製品設定の前にファイアウォール、ウィルスチェックなどのソフトウェアは終了させてください。動作させたままでいると、本製品の設定ができなかったり、通信が正常に行えない場合があります。本製品の設定が終了したら、一度終了させたファイアウォール、ウィルスチェックなどのソフトウェアをもとに戻してください。

● 本製品は下記の OS に対応しています。

・Windows® 7、Windows Vista®（SP2 を含む)、Windows® XP（SP3）および Macintosh（Mac OS X 10.4 以上）

● **Web ブラウザは、下記のバージョンに対応しています。(2011 年 6 月現在)**

Windows® 7 の場合

・Internet Explorer® 8.0 以上に対応

Windows Vista®（SP2）の場合

・Internet Explorer® 7.0 以上に対応

Windows® XP（SP3）の場合

・Internet Explorer® 6.0 SP2 以上に対応

Macintosh（Mac OS X 10.4 以上）の場合

・Safari 3.0.4 以上に対応

※ 本書では、Windows® 7 は、Windows® 7 Starter、Windows® 7 Home Premium、Windows® 7 Professional、Windows® 7 Enterprise および Windows® 7 Ultimate の各日本語版かつ 32 ビット (x86) 版／ 64 ビット (x64) 版の略として使用しています。

※ 本書では、Windows Vista® は、Windows Vista® Home Basic、Windows Vista® Home Premium、Windows Vista® Business および Windows Vista® Ultimate の各日本語版かつ 32 ビット (x86) 版／ 64 ビット (x64) 版の略として使用しています。

※ 本書では、Windows® XP（SP3）は、Windows XP Service Pack 3 の日本語版かつ 32 ビット (x86) 版／ 64 ビット (x64) 版の略として使用しています。

● **Web ブラウザによる設定では、以降の点に注意してください。**

・Windows® をご利用の場合、Web ブラウザや OS の設定でプロキシサーバを使用する設定になっていると正しく表示や操作ができないことがあります。

・お使いの Web ブラウザの設定で「JavaScript ™」を有効にしてください。

・お使いの Web ブラウザや Web ブラウザの設定により、説明されている操作を行った際に、Web ブラウザが以前に保存していた内容を表示する場合があります。

・Web ブラウザの「戻る」、「進む」ボタンは使用しないでください。本製品への操作が正しく行われない場合があります。

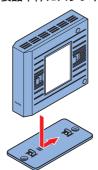
・Mac OS で Safari をご利用の場合、「テキストのみ拡大／縮小」にチェックを入れないと正しく表示できないことがあります。

※ 本書で説明に使用している画面表示は一例です。お使いの Web ブラウザやお使いの OS バージョンによって異なります。

2 本製品を設置する

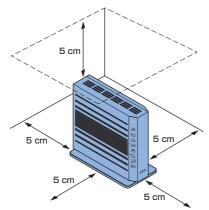
2-1 設置方法

スタンドを付けて、縦置きにする

図のように、本製品本体にスタンドを付けて縦置きでご使用ください。

⚠ 注意

本製品は横置きでのご使用はできません。

本製品を設置する

本製品は、前後左右５ cm、上５ cm 以内に、パソコンや壁などの物がない場所に設置してください。（壁掛けの場合は除く）

⚠ 注意

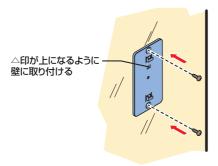
換気が悪くなると本製品内部の温度が上がり、故障の原因になります。

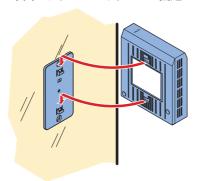
冷蔵庫やテレビなど、ノイズ源となる可能性のある機器の近くには設置しないでください。
本製品を横置きや重ね置きしないでください。横置きや重ね置きすると内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

スタンドを付けて壁掛けにする

■取り付けかた

スタンドを使用して壁に付けます。
あらかじめ、スタンドを本製品に装着して設置方向および設置スペースを確認してからスタンドを取り付けてください。

① スタンドを底面が壁側になるように、付属の壁掛け設置用ネジで取り付けます。

② 本製品を、下図のようにスライドさせて固定させます。

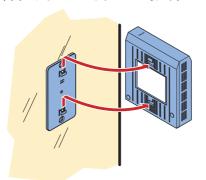
⚠ 注 意

力をかけすぎると本製品および壁が破損する恐れがあります。

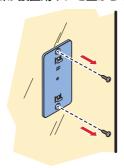
お願い

- ●壁掛けの場合、壁掛け面を除く上下左右に 5 cm の空間を作って設置してください。
- ●壁掛け時には落下すると危険ですので、大きな衝撃や振動などが加わる場所には設置しないでください。
- ●壁掛け設置されている状態でケーブルなどの接続などを行う際には、落下すると危険ですので必ず本製品本体を手で支えながら行ってください。
- ●本製品が落下すると危険ですので、ベニヤ板などのやわらかい壁への壁掛け設置は避け、確実に固定できる場所に設置してください。
また、壁掛け設置用ネジの先端が壁から突き出ないようにご注意ください。

■取り外しかた

①本製品を下図のようにスライドさせて取り外します。

⚠ 注意

力をかけすぎると本製品および壁が破損する恐れがあります。

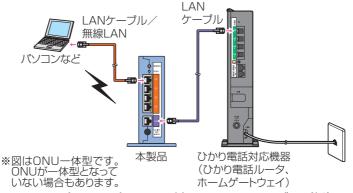
②付属の壁掛け設置用ネジを壁から取り外し、スタンドを取り外します。

3 本製品の接続をする

3-1 接続方法

ひかり電話ルータまたはホームゲートウェイを使用している場合

NTT 東日本・NTT 西日本のひかり電話対応機器（ひかり電話ルータ、ホームゲートウェイ）をご利用のお客様は、以下の手順にしたがい接続してください。

1 **パソコンの電源をオフにし、パソコンとひかり電話対応機器（ひかり電話ルータ、ホームゲートウェイ）を接続している LAN ケーブルを外す**

2 **本製品の WAN ポートとひかり電話対応機器（ひかり電話ルータ、ホームゲートウェイ）の LAN ポートを付属の LAN ケーブル（紫）で接続する**

※図はONU一体型です。ONUが一体型となっていない場合もあります。

3 **本製品の LAN ポートとパソコンを付属の LAN ケーブル（橙）または無線 LAN で接続する**

※パソコン、本製品ともに電源を切った状態で取り付けてください。パソコンがひかり電話対応機器（ひかり電話ルータ、ホームゲートウェイ）の LAN ポートへ接続されている場合は、本製品の LAN ポートへ接続し直してください。

4 **ひかり電話ルータまたはホームゲートウェイの電源がオフになっているときは電源を入れる**

5 **電源アダプタのコードを接続する**

※このときはまだ、電源アダプタ（電源プラグ）は壁などの電源コンセントに接続しないでください。

⚠ 警告	付属の電源アダプタ以外は使用しないでください。また、付属の電源アダプタは他の製品に使用しないでください。

6 **電源アダプタ（電源プラグ）を壁などの電源コンセントに接続する**

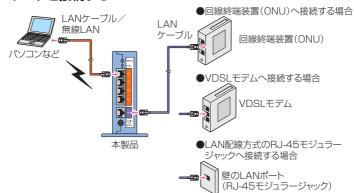
※本製品前面のランプが一度全点灯します。

お知らせ

- 本製品以外の機器のお取り扱いについては、各機器の取扱説明書を参照してください。
- 使用する機器や設置する場所などの使用状況に合わせる必要があるため、接続図と異なる場合があります。
- パソコンの電源を入れ、本製品背面のパソコンを接続した LAN ポートの LINK ランプが緑色で点滅または点灯することを確認してください。
- 有線 LAN の接続方法は「4 章 有線 LAN でパソコンを接続する」、無線 LAN の接続方法は「5 章 無線 LAN でパソコンを接続する」を参照してください。

ひかり電話ルータまたはホームゲートウェイを使用していない場合

NTT 東日本･NTT 西日本のひかり電話対応機器（ひかり電話ルータ、ホームゲートウェイ）をご利用でないお客様は、以下の手順にしたがい接続してください。

1 パソコンの電源をオフにし、付属の LAN ケーブル（紫）を使って、本製品の「WAN ポート」に ONU・VDSL モデム・LAN 配線方式の LAN ポートと接続する

2 本製品の LAN ポートとパソコンを付属の LAN ケーブル（橙）または無線 LAN で接続する

※パソコン、本製品ともに電源を切った状態で取り付けてください。パソコンがひかり電話対応機器（ひかり電話ルータ、ホームゲートウェイ）の LAN ポートへ接続されている場合は、本製品の LAN ポートへ接続し直してください。

3 ONU・VDSL モデムがオフになっているときは電源を入れる

4 電源アダプタのコードを接続する

※このときはまだ、電源アダプタ（電源プラグ）は壁などの電源コンセントに接続しないでください。

⚠ 警 告	付属の電源アダプタ以外は使用しないでください。また、付属の電源アダプタは他の製品に使用しないでください。

5 電源アダプタ（電源プラグ）を壁などの電源コンセントに接続する

※本製品前面のランプが一度全点灯します。

お知らせ

- 本製品以外の機器のお取り扱いについては、各機器の取扱説明書を参照してください。
- 使用する機器や設置する場所などの使用状況に合わせる必要があるため、接続図と異なる場合があります。
- パソコンの電源を入れ、本製品背面のパソコンを接続した LAN ポートの LINK ランプが緑色で点滅または点灯することを確認してください。
- 有線 LAN の接続方法は「4 章 有線 LAN でパソコンを接続する」、無線 LAN の接続方法は「5 章 無線 LAN でパソコンを接続する」を参照してください。

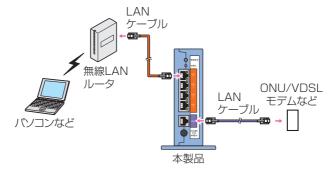
無線 LAN ルータを使用している場合

本製品は無線 LAN 機能を内蔵していますので、現在ご使用の無線 LAN ルータを使用せずに無線 LAN での通信が可能です。お手持ちの無線 LAN ルータを使用する場合は以下の様に接続してください。

1 付属の LAN ケーブル（紫）を使って、本製品の WAN ポートと ONU ／ VDSL モデムなどを接続する

2 お手持ちの無線 LAN ルータをアクセスポイント（ブリッジ）モードに設定する

3 付属の LAN ケーブル（橙）などを使って、本製品の LAN ポートと無線 LAN ルータを接続する

お知らせ

- ●アクセスポイント（ブリッジ）モードに設定できない無線 LAN ルータはご使用できません。
- ●ご利用の機種によっては IPv6 での通信が正常に動作しない場合があります。本製品内蔵の無線 LAN 機能を使用することを推奨します。

4 電源アダプタのコードを接続する

※このときはまだ、電源アダプタ（電源プラグ）は壁などの電源コンセントに接続しないでください。

⚠ 警 告	付属の電源アダプタ以外は使用しないでください。また、付属の電源アダプタは他の製品に使用しないでください。

5 電源アダプタ（電源プラグ）を壁などの電源コンセントに接続する

※本製品前面のランプが一度全点灯します。

お知らせ

- ●本製品以外の機器のお取り扱いについては、各機器の取扱説明書を参照してください。
- ●使用する機器や設置する場所などの使用状況に合わせる必要があるため、接続図と異なる場合があります。
- ●パソコンの電源を入れ、本製品背面のパソコンを接続した LAN ポートの LINK ランプが緑色で点滅または点灯することを確認してください。
- ●無線 LAN の接続方法は「5 章 無線 LAN でパソコンを接続する」を参照してください。

ローカルルータとして使用する場合

1 **付属のLANケーブル（紫）を使って、本製品のWANポートとIPv4ルータを接続する**

2 **本製品のLAN ポートとパソコンを付属のLAN ケーブル（橙）または無線LANで接続する**

※パソコン、本製品ともに電源を切った状態で取り付けてください。

3 **電源アダプタのコードを接続する**

※このときはまだ、電源アダプタ（電源プラグ）は壁などの電源コンセントに接続しないでください。

⚠ 警 告	付属の電源アダプタ以外は使用しないでください。また、付属の電源アダプタは他の製品に使用しないでください。

4 **電源アダプタ（電源プラグ）を壁などの電源コンセントに接続する**

※本製品前面のランプが一度全点灯します。

お知らせ

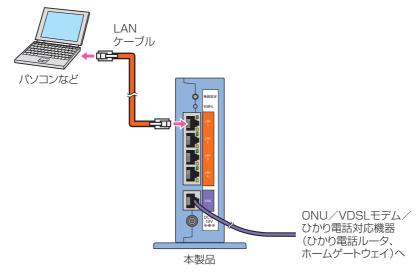
- 本製品以外の機器のお取り扱いについては、各機器の取扱説明書を参照してください。
- 使用する機器や設置する場所などの使用状況に合わせる必要があるため、接続図と異なる場合があります。
- パソコンの電源を入れ、本製品背面のパソコンを接続したLAN ポートのLINK ランプが緑色で点滅または点灯することを確認してください。
- 有線LAN の接続方法は「4 章 有線LAN でパソコンを接続する」、無線LAN の接続方法は「5 章 無線LAN でパソコンを接続する」を参照してください。

お願い

●本製品をひかり電話対応機器（ひかり電話ルータ、ホームゲートウェイ）へ接続する構成で、本製品からのインターネット接続ができない（本製品前面 PPP ランプが緑点灯または橙点灯しない）場合は、本製品以外の端末から接続した PPPoE セッションを適宜切断する必要があります。PPPoE セッションを本製品以外で占有していないか確認してください。
●お客様で LAN ケーブルをご用意いただく場合、LAN ポートで 1 Gbps（1000 Mbps）の通信をご利用になるときは 1 Gbps（1000 Mbps）に対応した LAN ケーブルをご用意ください。1 Gbps（1000 Mbps）に対応していない LAN ケーブルの場合、通信速度が遅くなる場合や接続できなくなる場合があります。
●ひかり電話対応機器（ひかり電話ルータ、ホームゲートウェイ）以外にお客様がお持ちのルータや無線アクセスポイントを接続する場合は、本製品の LAN ポートへ接続してください。
なお、お客様がお持ちのルータ機器を接続した際、当該機器による PPPoE セッション（インターネットなど）が接続できない場合は、機能詳細ガイドをご参照いただき、“PPPoE ブリッジ”の設定変更を実施のうえ、お試しください。

4 有線 LAN でパソコンを接続する

4-1 パソコンを接続する

本製品の LAN ポートとパソコンを LAN ケーブル（橙）で接続します。

パソコン、本製品ともに電源を切った状態で接続してください。
ケーブルが接続されていることを確認し、本製品、パソコンの順に電源を入れてください。

※お客様で LAN ケーブルをご用意いただく場合、LAN ポートで 1 Gbps（1000 Mbps）の通信をご利用になる時は 1 Gbps（1000 Mbps）に対応した LAN ケーブルをご用意ください。
1 Gbps（1000 Mbps）に対応していない LAN ケーブルの場合、通信速度が遅くなる場合や接続できなくなる場合があります。

5

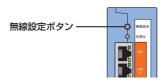
無線 LAN でパソコンを接続する

5-1 Windows® 7/Windows Vista® の場合

Windows® 7 ／ Windows Vista® 搭載パソコンで無線 LAN を設定する方法には、
・「無線設定ボタン」で設定する（Windows® 7 のみ）（☛ 下記）
・無線ネットワーク名（SSID）を一覧から選択して設定する（☛5-5 ページ）
・無線ネットワーク名（SSID）を直接入力して設定する（☛5-7 ページ）
の方法があります。いずれかの方法で設定してください。

「無線設定ボタン」で設定する（Windows® 7 のみ）

「無線 LAN 簡単接続機能（WPS 機能）」を使用して、Windows® 7搭載の無線 LAN 内蔵パソコンと本製品を無線接続するための設定を行います。設定が完了するまで、2 分程度かかる場合があります。

1 **本製品背面の「無線設定ボタン」を 1 秒以上押し、本製品前面の無線 LAN ランプが橙点滅したら離す**

「無線 LAN 簡単接続機能（WPS 機能）」での設定が開始されると、本製品前面の無線 LAN ランプが橙点滅します。

お知らせ

●設定中に無線 LAN ランプが 10 秒間赤点滅した場合は、設定に失敗しています。

2 **通知領域（タスクトレイ）、もしくは「隠れているインジケーター」の中に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンをクリックする**

※[スタート]（Windows® のロゴボタン）－ [コントロールパネル] － [ネットワークとインターネット] － [ネットワークと共有センター] － [ネットワークに接続] をクリックする方法もあります。

3 「dsra01-●●●●●●-1」（●●●●●●は製品によって異なります）を選択する

※本製品に初期設定されている暗号化キー、および無線ネットワーク名（dsra01-●●●●●●-1）は、本製品の側面に記載されています。
「5-4 本製品の無線ネットワーク名、暗号化キーについて」を参照してください。

4 ［接続］をクリックする

※手動でのセキュリティ入力を求める画面が表示された場合は、自動的に接続されるまでお待ちください。キー入力を行うと自動接続が切断されます。

5 本製品前面の無線 LAN ランプが橙点灯することを確認する

「無線 LAN 簡単接続機能（WPS 機能）」での無線 LAN 設定が完了し、無線 LAN ランプは橙点灯になります。（10 秒間）

●設定中に無線 LAN ランプが 10 秒間赤点滅した場合は、設定に失敗しています。

6 通知領域（タスクトレイ）、もしくは「隠れているインジケーター」の中に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンを再度クリックする

7 手順３で選択したネットワーク名(SSID)を右クリックし､「プロパティ」をクリックする

8 [接続] タブをクリックし､「ネットワークが名前（SSID）をブロードキャストしていない場合でも接続する」にチェックを入れ、[OK] をクリックする

以上でパソコンの設定は完了です。

お知らせ

- ●本機能で無線 LAN の設定が可能ですが、接続を保証するものではありません。
- ●他の無線 LAN 端末のユーティリティやドライバがインストールされていると、Windows® 7 の無線 LAN 接続に失敗する場合があります。その場合は、他の無線 LAN 端末ユーティリティやドライバをアンインストールしてください。
- ●「無線 LAN 簡単接続機能（WPS 機能）」を使用して Windows® 7 搭載の無線 LAN 内蔵パソコンと本製品を接続する場合、本製品の「ESSID ステルス機能」の「使用する（SSID を隠蔽する）」のチェックを外す、または各手順に記載されているパソコンの設定をする必要があります。
- ●「無線 LAN 簡単接続機能（WPS 機能）」での設定中は他の無線接続はいったん切断される場合があります。
- ●本機能で２台以上の無線 LAN 端末を同時に設定することはできません。１台ずつ設定を行ってください。

無線ネットワーク名（SSID）を一覧から選択して設定する

無線ネットワーク名（SSID）の一覧から選択して設定を行う場合は以下の手順で行ってください。

※本製品の ESSID ステルス機能を使用している場合は一覧に表示されません。

1 **［スタート］（Windows® のロゴボタン）－［コントロールパネル］をクリックする**

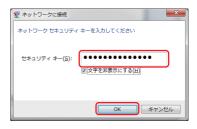
2 **［ネットワークとインターネット］をクリックし、［ネットワークに接続］をクリックする**

3 **「dsra01-●●●●●●-1」（●●●●●●は製品によって異なります）を選択する**

※本製品に初期設定されている暗号化キー、および無線ネットワーク名（dsra01-●●●●●●-1）は、本製品の側面に記載されています。
「5-4 本製品の無線ネットワーク名、暗号化キーについて」を参照してください。

4 **「セキュリティ キー」に本製品の暗号化キーを入力し［OK］をクリックする**

※工場出荷状態での「セキュリティキー」は、本製品側面に記載されている暗号化キーを入力してください。

5 無線LANでパソコンを接続する

5

「接続」と表示されていることを確認する

※「ネットワークアドレスの取得中」から「接続」に切り替わらない場合は、「暗号化キー」に間違いがあります。「切断」をクリックし、もう一度手順 1 から接続をやり直してください。

以上で無線 LAN の手動設定は完了です。

無線ネットワーク名（SSID）を直接入力して設定する

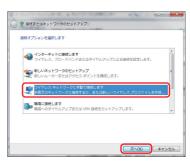
無線ネットワーク名（SSID）を直接入力して接続する場合は以下の手順で接続を行ってください。

1 **［スタート］（Windows® のロゴボタン）－［コントロールパネル］をクリックする**

2 **［ネットワークとインターネット］をクリックし、［ネットワークと共有センター］をクリックする**

3 **「ネットワーク設定の変更」から［新しい接続またはネットワークのセットアップ］をクリックする**

※Windows Vista® の場合は「タスク」から［接続またはネットワークのセットアップ］をクリックする

4 **接続オプションの一覧から［ワイヤレスネットワークに手動で接続します］を選択し、［次へ］をクリックする**

5 **「ネットワーク名」に「dsra01-●●●●●●-1」（●●●●●●は製品によって異なります）を入力する**

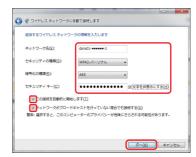
※本製品に初期設定されている暗号化キー、および無線ネットワーク名（dsra01-●●●●●●-1）は、本製品の側面に記載されています。
「5-4 本製品の無線ネットワーク名、暗号化キーについて」を参照してください。

6 **「セキュリティの種類」は「WPA －パーソナル」または「WPA2 －パーソナル」を選択する**

※「暗号化の種類」は自動選択になります。

7 **「セキュリティキー」に本製品の暗号化キー（事前共有キー（PSK）または WEP キー）を入力する**

※工場出荷状態での「セキュリティキー」は、本製品側面に記載されている暗号化キーを入力してください。

8 「この接続を自動的に開始します」、「ネットワークがブロードキャストを行っていない場合でも接続する」にチェックを入れ、［次へ］をクリックする

9 「正常に dsra01- ●●●●●● -1 を追加しました」の画面になることを確認す、［閉じる］をクリックする

以上で無線 LAN の手動設定は完了です。

無線ネットワーク名（SSID）を一覧から選択して設定する

無線ネットワーク名（SSID）の一覧から選択して設定を行う場合は以下の手順で行ってください。

※本製品の ESSID ステルス機能を使用している場合は一覧に表示されません。

1 **［スタート］－［コントロールパネル］をクリックする**

2 **［ネットワークとインターネット接続］をクリックする**

3 **［ネットワーク接続］をクリックする**

4 **「ワイヤレスネットワーク接続」を右クリックし、［利用できるワイヤレスネットワークの表示］をクリックする**

5 **「dsra01-●●●●●●-1」または「dsra01-●●●●●●-2」（●●●●●●は製品によって異なります）を選択する**

※本製品に初期設定されている暗号化キー、および無線ネットワーク名（dsra01-●●●●●●-1、dsra01-●●●●●●-2）は、本製品の側面に記載されています。
「5-4 本製品の無線ネットワーク名、暗号化キーについて」を参照してください。

6 **「ネットワークキー」に本製品の暗号化キー（事前共有キー（PSK）または WEP キー）を入力する**

※工場出荷状態での「ネットワークキー」は、本製品側面に記載されている暗号化キーを入力してください。

7 **「接続」と表示されていることを確認する**

※「ネットワークアドレスの取得中」から「接続」に切り替わらないときは、「暗号化キー」に間違いがあります。「切断」をクリックし、もう一度手順 1 から接続をやり直してください。

以上でパソコンの設定は完了です。

無線ネットワーク名（SSID）を直接入力して設定する

無線ネットワーク名（SSID）を直接入力して接続する場合は以下の手順で接続を行ってください。

1 ［スタート］－［コントロールパネル］をクリックする

2 ［ネットワークとインターネット接続］をクリックする

3 ［ネットワーク接続］をクリックする

4 ［ワイヤレスネットワーク接続］を右クリックし、メニューから［プロパティ］をクリックする

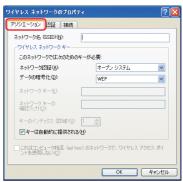
※［無線 LAN 接続］と表示されている場合もあります。

5 ［全般］タブをクリックし、「インターネットプロトコル（TCP/IP)」を選択し、［プロパティ］ボタンをクリックする

6 ［IP アドレスを自動的に取得する］と［DNS サーバのアドレスを自動的に取得する］をクリックする

7 ［OK］をクリックする

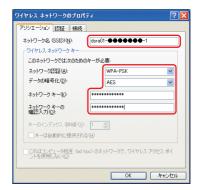
8 **［ワイヤレスネットワーク］タブをクリックし、「Windows でワイヤレスネットワークの設定を構成する」にチェックを入れ、［追加］をクリックする**

9 **［アソシエーション］タブをクリックする**

10 **「ネットワーク名」に「dsra01-●●●●●●-1」（●●●●●●は製品によって異なります）を入力する**

※本製品に初期設定されている暗号化キー、および無線ネットワーク名（dsra01-●●●●●●-1）は、本製品の側面に記載されています。
「5-4 本製品の無線ネットワーク名、暗号化キーについて」を参照してください。

11 **「ネットワーク認証」は「WPA － PSK」、「データの暗号化」は「AES」を選択する**

12 **「ネットワーク キー」に本製品の暗号化キー（事前共有キー（PSK）または WEP キー）を入力する**

※工場出荷状態での「ネットワークキー」は、本製品側面に記載されている暗号化キーを入力してください。

13 **［接続］タブをクリックし、「このネットワークが範囲内にあるとき接続する」をチェックし、［OK］をクリックする**

14 **「ワイヤレス ネットワーク接続のプロパティ」画面の［OK］をクリックするとワイヤレス接続されます。**

以上で無線 LAN の手動設定は完了です。

5-3 Mac OS の場合

無線ネットワーク名（SSID）を一覧から選択して設定する

無線ネットワーク名（SSID）の一覧から選択して設定を行う場合は以下の手順で行ってください。

※本製品の ESSID ステルス機能を使用している場合は一覧に表示されません。

1 **画面右上のメニューバーの「AirMac」をクリックする**

2 **「AirMac を入にする」をクリックする**

※「AirMac を切にする」と表示されているときは手順 3 へ進んでください。

3 **「dsra01-●●●●●●-1」または「dsra01-●●●●●●-2」（●●●●●●は製品によって異なります）を選択する**

※本製品に初期設定されている暗号化キー、および無線ネットワーク名（dsra01-●●●●●●-1、dsra01-●●●●●●-2）は、本製品の側面に記載されています。
「5-4 本製品の無線ネットワーク名、暗号化キーについて」を参照してください。

4 **「パスワード」に本製品の暗号化キー（事前共有キー（PSK）、WEP キー）を入力する**

※工場出荷状態での「パスワード」は、本製品側面に記載されている暗号化キーを入力してください。

お知らせ

●「接続で問題がありました」と表示されたときは、「暗号化キー」に間違いがあります。[OK] をクリックし、もう一度手順 1 から接続してください。

5 **画面右上のメニューバーの「AirMac」をクリックする**

「dsra01-●●●●●●-1」または「dsra01-●●●●●●-2」（●●●●●●は製品によって異なります）にチェックマークが付いていることを確認します。

以上でパソコンの設定は完了です。

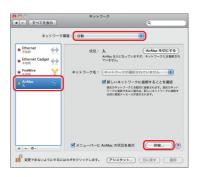
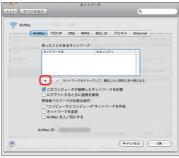
無線ネットワーク名（SSID）を直接入力して設定する

無線ネットワーク名（SSID）を直接入力して接続する場合は以下の手順で接続を行ってください。

1 アップルメニューの「システム環境設定」をクリックする

2 「ネットワーク」アイコンをクリックする

3 「AirMac」をクリックする

4 「ネットワーク環境」で「自動」を選択し、［詳細 ...］をクリックする

5 ［+］をクリックする

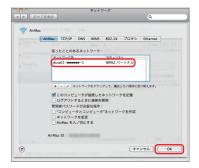
6 「ネットワーク名」に「dsra01-●●●●●●-1」（●●●●●●は製品によって異なります）を入力する

※本製品に初期設定されている暗号化キー、および無線ネットワーク名（dsra01-●●●●●●-1）は、本製品の側面に記載されています。
「5-4 本製品の無線ネットワーク名、暗号化キーについて」を参照してください。

7 「セキュリティ」は「WPA パーソナル」または「WPA2 パーソナル」を選択する

8 「パスワード」に本製品の暗号化キー（事前共有キー（PSK）または WEP キー）を入力し、［追加］をクリックする

※工場出荷状態での「パスワード」は、本製品側面に記載されてる暗号化キーを入力してください。

9 「使ったことのあるネットワーク」に入力した本製品の無線ネットワーク名（SSID）が表示されていることを確認し、［OK］をクリックする

10 「ネットワーク名」で「dsra01-●●●●●●-1」を選択する

11 もう一度、［詳細 ...］をクリックする

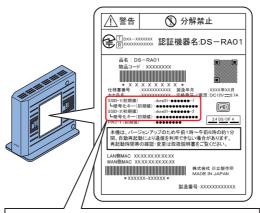
12 「TCP/IP」タグをクリックし、「IPv4 の構成」は「DHCP サーバを使用する」を選択し、「IPv4 アドレス」に IP アドレスが表示されているか確認する
「IPv6 の構成」は「自動」を選択し、［OK］ボタンをクリックする

以上で無線 LAN の手動設定は完了です。

5-4 本製品の無線ネットワーク名、暗号化キーについて

お知らせ

●暗号化キー（事前共有キー（PSK）および WEP キー）をお客様自身で設定する場合、第三者に推測されにくいキーを登録してください。
また、暗号化キー（事前共有キー（PSK）または WEP キー）および品名紙記載の情報は、お客様にて厳重に管理してください。
WEP をご利用の際は、より強固なセキュリティとするため MAC アドレスフィルタリングを併用してください。（☛ 詳細は「機能詳細ガイド」の「Web 設定について」－［無線 LAN 設定］－［無線 LAN 設定］－［MAC アドレスフィルタリング］を参照してください。）

※本製品の無線ネットワーク名（SSID）、暗号化キー（事前共有キー（PSK）、WEP キー）は本製品側面に記載されています。

SSID-1（初期値）　：dsra01-●●●●●●-1
└暗号化キー（初期値）：●●●●●●●●●●●●●
SSID-2（初期値）　：dsra01-●●●●●●-2
└暗号化キー（初期値）：●●●●●●●●●●●●●
※暗号化キーは、ランダムに生成した製品ごとに異なる13 桁の半角英数字

※イラストとデザインが異なる場合があります。

6 パソコンを設定する

6-1 Windows® 7/Windows Vista® の場合

本製品に接続するパソコンのネットワークの設定をします。
パソコンのネットワークの設定が初期状態の場合は、パソコンの設定は必要ありません。
「7 章 本製品の設定をする」へお進みください。
Windows® 7、Windows Vista® の設定により表示内容が異なる場合があります。

パソコンのネットワーク設定をする

1 ［スタート］（Windows® のロゴボタン）－［コントロールパネル］をクリックする

2 ［ネットワークとインターネット］をクリックし、［ネットワークと共有センター］をクリックする

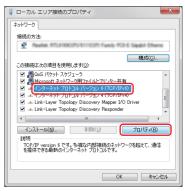
3 ［タスク］欄の［アダプターの設定の変更］をクリックする

※Windows Vista® の場合は［タスク］欄の［ネットワーク接続の管理］をクリックします。

4 ［ローカルエリア接続］アイコンを右クリックし、［プロパティ］をクリックする

※［ユーザーアカウント制御］画面が表示された場合は、［続行］をクリックします。

●無線 LAN 接続の場合は［ワイヤレスネットワーク接続］アイコンを右クリックしてください。

5 ［インターネットプロトコルバージョン 6（TCP/IPv6)］をクリックし、［プロパティ］をクリックする

6 ［IPv6 アドレスを自動的に取得する］と［DNS サーバのアドレスを自動的に取得する］をクリックする

7 ［OK］をクリックする

8　[インターネットプロトコルバージョン4（TCP/IPv4)]をクリックし、[プロパティ]をクリックする

9　[アドレスを自動的に取得する]と［DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する］をクリックする

10　[OK]をクリックする

11　[OK] または [閉じる] をクリックする

以上でパソコンのネットワークの設定は完了です。

6 パソコンを設定する

お知らせ

●本書では、Windows® 7 の通常表示モード（コントロールパネルホーム）を前提に記載しています。

Web ブラウザの接続設定をする

Web ブラウザの設定が初期状態の場合は、本設定は必要ありません。「7 章　本製品の設定をする」へお進みください。初期状態でない場合は Web ブラウザの接続設定を「ダイヤルしない」、「プロキシサーバーを使用しない」に設定する必要があります。以下の手順で設定してください。

以下の画面は、Windows® 7 で Internet Explorer® 8.0 を使用している場合の例です。

1 **［スタート］（Windows® のロゴボタン）－［コントロールパネル］をクリックする**

2 **［ネットワークとインターネット］をクリックし、［インターネットオプション］をクリックする**

3 **［接続］タブをクリックし、リストにダイヤルアップの設定がある場合は［ダイヤルしない］をクリックする**

4 **［LAN の設定］をクリックする**

5 **［設定を自動的に検出する］、［自動構成スクリプトを使用する］、［LAN にプロキシサーバーを使用する］のチェックを外し、［OK］をクリックする**

プロバイダからプロキシの設定指示があった場合は、その指示にしたがってください。

6 **［OK］をクリックする**

以上で Web ブラウザの設定は完了です。

インターネットオプションのセキュリティを確認をする

インターネットオプションのセキュリティの設定が「高」以外の場合は、本設定は必要ありません。「7 章　本製品の設定をする」へお進みください。設定が「高」のお客様は JavaScript ™の設定を有効にする必要があります。以下の手順で設定してください。

※Web ブラウザの設定でセキュリティを「高」に設定した場合、本製品の設定が正しく行えない場合があります。設定ができない場合は、以下の手順で JavaScript ™を「有効にする」に設定してください。

以下の画面は、Windows® 7 で Internet Explorer® 8.0 を使用している場合の例です。

1. [スタート]（Windows® のロゴボタン）－［コントロールパネル］をクリックする
2. [ネットワークとインターネット］をクリックし、[インターネットオプション］をクリックする
3. [セキュリティ］タブをクリックし、[信頼済みサイト］をクリックする
4. [サイト］をクリックする
5. [このゾーンのサイトにはすべてサーバーの確認 (https:) を必要とする］のチェックを外す

6. [この Web サイトをゾーンに追加する］に「http://websetup.jp/」を入力して［追加］をクリックし、さらに「http://[fdc0:9f5c:b401:dec0::1]/」を入力して［追加］をクリックして、[閉じる］をクリックする

7. [レベルのカスタマイズ］をクリックする

8 画面をスクロールし、[アクティブ スクリプト] が [有効にする] に設定されていることを確認し、[OK] をクリックする

9 [OK] をクリックする

以上でインターネットオプションのセキュリティ確認は完了です。

6-2 Windows® XP の場合

本製品に接続するパソコンのネットワークの設定をします。
Windows® XP の設定により操作や表示内容が異なります。

パソコンのネットワーク設定をする

1 ［スタート］－［コントロールパネル］を選択する

2 ［ネットワークとインターネット接続］をクリックする

3 ［ネットワーク接続］をクリックする

4 ［ローカルエリア接続］アイコンを右クリックし、［プロパティ］をクリックする

●無線 LAN 接続の場合は［ワイヤレスネットワーク接続］アイコンを右クリックしてください。

5 「この接続は次の項目を使用します」の欄に、［Microsoft TCP/IP version6］が表示される場合は手順 8 へ進む
表示されない場合は手順 6 へ進む

6 ［インストール］をクリックし、コンポーネント種類［プロトコル］を選択する

7 ［追加］をクリックし、［Microsoft TCP/IP version 6］を選択し、［OK］をクリックする

8 [インターネットプロトコル(TCP/IP)] をクリックし、[プロパティ] をクリックする

9 [IP アドレスを自動的に取得する] と [DNS サーバのアドレスを自動的に取得する] をクリックする

10 [OK] をクリックする

11 [OK] または [閉じる] をクリックする

以上でパソコンのネットワークの設定は完了です。

Web ブラウザの接続設定をする

Web ブラウザの設定が初期状態の場合は、本設定は必要ありません。「7 章　本製品の設定をする」へお進みください。初期状態でない場合は Web ブラウザの接続設定を「ダイヤルしない」、「プロキシサーバーを使用しない」に設定する必要があります。以下の手順で設定してください。

Windows® XP の設定により操作や表示内容が異なります。以下の画面は Internet Explorer® 8.0 を使用している場合の例です。

1 ［スタート］－［コントロールパネル］をクリックする

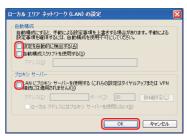
2 ［ネットワークとインターネット接続］をクリックする

3 ［インターネットオプション］をクリックする

4 ［接続］タブをクリックし、リストにダイヤルアップの設定がある場合は［ダイヤルしない］をクリックする

5 ［LAN の設定］をクリックする

6 ［設定を自動的に検出する］、［自動構成スクリプトを使用する］、［LAN にプロキシサーバーを使用する］のチェックを外し、［OK］をクリックする

プロバイダからプロキシの設定指示があった場合は、その指示にしたがってください。

7 ［OK］をクリックする

以上で Web ブラウザの設定は完了です。

インターネットオプションのセキュリティを確認をする

インターネットオプションのセキュリティの設定が「高」以外の場合は、本設定は必要ありません。「7 章　本製品の設定をする」へお進みください。設定が「高」のお客様は JavaScript ™の設定を有効にする必要があります。以下の手順で設定してください。

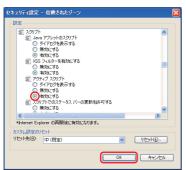
※Web ブラウザの設定でセキュリティを「高」に設定した場合、本製品の設定が正しく行えない場合があります。設定ができない場合は、以下の手順で JavaScript ™を「有効にする」に設定してください。

Windows® XP の設定により操作や表示内容が異なります。以下の画面は Internet Explorer® 8.0 を使用している場合の例です。

1. [スタート] － [コントロールパネル] をクリックする
2. [ネットワークとインターネット接続] をクリックする
3. [インターネットオプション] をクリックする
4. [セキュリティ] タブをクリックし、[信頼済みサイト] をクリックする
5. [サイト] をクリックする

6. [このゾーンのサイトにはすべてサーバーの確認 (https:) を必要とする] のチェックを外す
7. [この Web サイトをゾーンに追加する] に「http://websetup.jp/」 を入力して [追加] をクリックし、さらに「http://[fdc0:9f5c:b401:dec0::1]/」を入力して [追加] をクリックして、[閉じる] をクリックする

8. [レベルのカスタマイズ] をクリックする

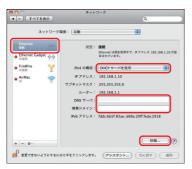
9 画面をスクロールし、[アクティブスクリプト] が [有効にする] に設定されていることを確認し、[OK] をクリックする

10 [OK] をクリックする

以上でインターネットオプションのセキュリティ確認は完了です。

6-3 Mac OS の場合

パソコンのネットワーク設定をする

Mac OS の設定により、表示内容が異なる場合があります。

1. アップルメニューの［システム環境設定］を開き、［ネットワーク］アイコンをクリックする
2. ［Ethernet］をクリックし、［IPv4 の構成］を［DHCP サーバを使用］にする
3. ［DNS サーバ］と［検索ドメイン］を空白にして［詳細］をクリックする

4. ［TCP/IP］タブをクリックし、［DHCP クライアント ID］を空白にして［OK］をクリックする
5. ［適用］をクリックし、ウィンドウを閉じる
6. ［今すぐ適用］をクリックする

以上でパソコンのネットワークの設定は完了です。

インターネットオプションのセキュリティを確認をする

Web ブラウザで設定を行うには、JavaScript ™の設定を有効にする必要があります。有効になっていない場合は以下の手順で設定してください。

※Web ブラウザの設定で、本製品の機器設定用パスワードの設定ができないことがあります。設定ができない場合は、以下の手順で JavaScript ™を「有効にする」に設定してください。
以下は、Mac OS で Safari を使用している場合の例です。

1. Safari を起動する
2. メニューバーの [Safari] − [環境設定 ...] をクリックし、環境設定ウィンドウを表示する
3. [セキュリティ] をクリックする
4. [JavaScript を有効にする] にチェックを入れる

5. ■ をクリックして環境設定ウィンドウを閉じる
6. メニューバーの［Safari］から［Safari を終了］をクリックし、Safari を終了させる

以上でインターネットオプションのセキュリティ確認は完了です。

7 本製品の設定をする

本章の設定作業を行う前には、必ず本製品付属の資料「プロバイダからのご案内」にて動作モード、接続先の設定方法をご確認ください。

7-1 専用 CD-ROM の使いかた

付属の専用 CD-ROM には下記内容のソフトウェアやファイルが収録されています。また、本章で使用している画面は、特に記載がない場合 Windows® の画面を例に使用しています。

ご使用方法

付属の専用 CD-ROM をパソコンへセットするとメニュー画面が表示されます。
自動で表示されなかった場合は以下の手順をお試しください。

● Windows® 7/Windows Vista®/Windows® XP の場合

・付属の専用 CD-ROM をパソコンへセットして自動再生画面が表示された場合は「ファイルの実行」をクリックしてください

・付属の専用 CD-ROM をパソコンへセットしても「メニュー画面」が起動しない場合は、以下の操作を行います。

①「スタート」（Windows® のロゴボタン）－「ファイル名を指定して実行」を選択する

②名前の欄に、CD-ROM ドライブ名とファイル名「menu.html」を入力し「OK」をクリックする

例）CD-ROM ドライブ名が E の場合は、「E：\menu.html」と入力する。

● Mac OS の場合

・付属の専用 CD-ROM をセット後、専用 CD-ROM 内の「menu.html」をクリックしてください。

※付属の専用 CD-ROM をパソコンから取り出すときは、「メニュー画面」を閉じた後に行ってください。

【メニュー画面】

・**本 CD-ROM について**
本専用 CD-ROM の説明について記載しています。

・**取扱説明書を見る**
本製品の取扱説明書がご覧いただけます。
「はじめにご確認ください」と「らくらく接続・設定ガイド」と合わせてご覧ください。

・**機能詳細ガイドを見る**
本製品の機能詳細ガイドがご覧いただけます。
より高度な設定につきましてはこちらをご参照してください。

・**DS-RA01 の設定をする**
本製品の Web 設定画面が表示されます。
Web 設定画面が表示されない場合は付属の「らくらく接続・設定ガイド」や「取扱説明書」を参照し、お使いのパソコンの設定を確認してください。

・**Adobe® Reader® をインストールする**
Adobe® Reader® をお持ちでないかたはこちらからインストールできます。
※ Mac は標準で PDF を表示することができるため、Adobe® Reader® のインストールは不要です。
Mac で「メニュー画面」を開いた場合、[Adobe® Reader® をインストールする] のボタンは表示されません。

7-2 動作モードについて

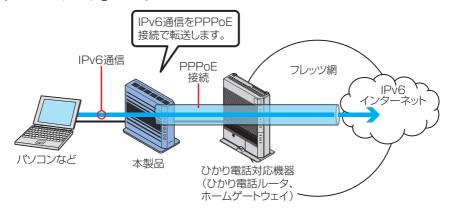
お客様にご利用いただく際の用途によって、本製品の動作モードを切り替えてご利用いただけます。
IPv6 で通信するための動作モード (IPv6 動作モード) と IPv4 で通信するための動作モード (IPv4 動作モード) をそれぞれ設定します。

■IPv6 動作モードについて

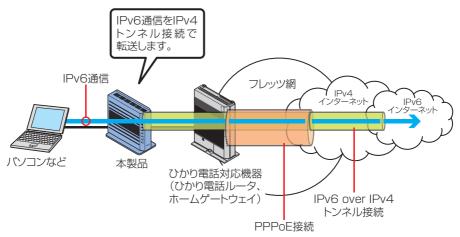
IPv6 動作モードでは、2 種類の動作モードから選択できます。

・PPPoE ルータ
・IPv6 over IPv4 トンネルルータ

※モードの設定については付属の「プロバイダからのご案内」を参照してください。

「PPPoE ルータ」モード

※図は接続のイメージを示しています。接続によってはひかり電話対応機器がない場合もあります。

「PPPoE ルータ」モードとは、本製品が PPPoE 接続を行い、IPv6 インターネットに接続するモードです。本製品が PPPoE ルータとなって、パソコンなどの接続端末からの IPv6 パケットを IPv6 インターネットへ転送します。

「IPv6 over IPv4 トンネルルータ」モード

※図は接続のイメージを示しています。

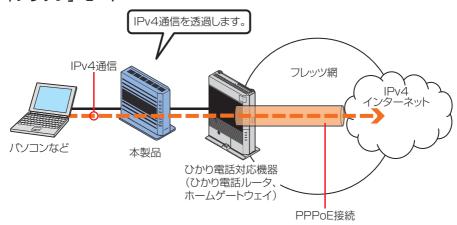
「IPv6 over IPv4 トンネルルータ」モードとは、IPv4 インターネットを経由して IPv6 インターネットへ接続するモードです。IPv6 パケットを IPv4 でカプセル化することで、既存の IPv4 通信環境を使って、IPv6 通信が可能になります。

■IPv4 動作モードについて

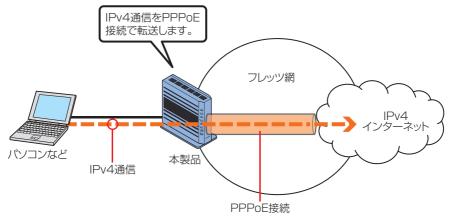
IPv4 動作モードでは、3 種類の動作モードから選択できます。

- **ブリッジ**
- **PPPoE ルータ**
- **ローカルルータ**

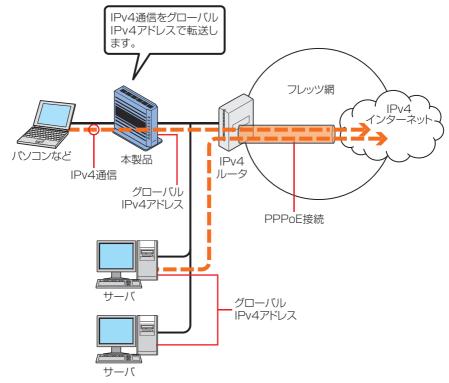
※モードの設定については付属の「プロバイダからのご案内」を参照してください。

「ブリッジ」モード

※図は接続のイメージを示しています。

「ブリッジ」モードとは、本製品がひかり電話ルータまたはホームゲートウェイなどの IPv4 ルータに接続している環境で、IPv4 ルータと、本製品の LAN 側に接続したパソコンなどの端末との間で、IPv4 通信を行うモードです。
本製品は、パソコンなどの接続端末から送信された IPv4 パケットを WAN 側へ透過します。WAN 側へ透過した IPv4 パケットは IPv4 ルータにより IPv4 インターネットへ転送されます。

「PPPoE ルータ」モード

※図は接続のイメージを示しています。

「PPPoE ルータ」モードとは、本製品が PPPoE 接続を行い、IPv4 インターネットに接続するモードです。本製品が PPPoE ルータとなって、パソコンなどの接続端末からの IPv4 パケットを IPv4 インターネットへ転送します。

「ローカルルータ」モード

※図は接続のイメージを示しています。

「ローカルルータ」モードとは、本製品の WAN 側に IPv4 ルータを設置し、複数のグローバル IPv4 アドレスを使ってサーバを公開している環境で、本製品を動作させる場合のモードです。
グローバル IPv4 アドレスでサーバを IPv4 インターネットに公開しつつ、本製品を動作させることができます。また、本製品の LAN 側に接続したパソコンなどの接続端末は、本製品のグローバル IPv4 アドレスを使って、IPv4 通信を行うことができます。

7-3 「Web 設定」で設定する

「Web 設定」で設定する

1 Web ブラウザから「Web 設定」の画面を開く

付属の専用 CD-ROM に収録されているメニュー画面から「DS-RA01 の設定をする」をクリックし、「Web 設定」の画面を開いてください。

※付属の専用 CD-ROM からメニュー画面を開く方法は「7-1 専用 CD-ROM の使いかた」を参照してください。

また、Web ブラウザを起動し、「http://websetup.jp/」と入力し、「Web 設定」画面を開いてください。

2 機器設定用パスワードの初期設定を行う

画面にしたがって任意の文字列(半角英数字で最大 32 文字まで)を入力してください。

3 「設定」をクリックする

お知らせ

- 機器設定用パスワードは、本製品を設定する場合に必要となりますので、控えておいてください。
- 機器設定用パスワードは第三者に推測されにくいパスワードを登録してください。パスワードはお客様にて厳重に管理してください。
- パスワードを忘れた場合は、本製品を初期化し、はじめから設定をやり直してください。(☛「10-4 本製品の初期化」)
- 機器設定用パスワードには 32 文字以内の半角英数文字 (<>¥'"?&%=:;@/ を除く) が使用できます。なお、大文字と小文字は区別されます。空白にすることはできません。またスペースのみで設定することもできません。入力した文字列はそのまま表示されず、全て“●”もしくは“＊”に置き換って表示されます。
- パスワードの確認入力で、異なったパスワードを入力した場合はエラー画面が表示されますので、もう一度操作をやり直してください。
- すでに機器設定用パスワードを設定し、設定ウィザードでプロバイダなどの設定が済んでいる場合は、手順 1 で「http://websetup.jp/」を入力すると手順４の画面が表示されますので、「ユーザ名」と「パスワード」を入力してください。本製品は再起動せず、すぐに「Web 設定」のトップ画面が表示されます。

4 ユーザ名に「user」を入力し、パスワードに手順 2 で設定した機器設定用パスワードを入力して「OK」をクリックする

※本画面は表示されない場合があります。

お知らせ

- ユーザ名、パスワードが間違っていた場合は認証エラー画面が表示されます。［トップページへ戻る］をクリックして再度入力してください。

※ ご利用の環境によっては表示されない場合があります。

認証エラー

認証に失敗しました。ユーザ名とパスワードを確認してください。

現在のファームウェアバージョン :

アップデート情報

更新種別　自動【一定量データ通信監視あり】( )

トップページへ戻る

5 動作モードおよび接続先を設定する

動作モードおよび接続先の設定はお客様のご利用環境に合わせて、以下のいずれかの設定を行ってください。

※モード設定については付属の「プロバイダからのご案内」をご参照ください。

IPv6 動作モード	IPv4 動作モード	説明	参照ページ
PPPoE ルータ	ブリッジ	ひかり電話ルータまたはホームゲートウェイを使用する場合	☛7-11 ページ
	PPPoE ルータ	ひかり電話ルータまたはホームゲートウェイを使用しない場合	☛7-13 ページ
	ローカルルータ	WAN 側にルータがある場合	☛7-15 ページ
IPv6 over IPv4 トンネルルータ	ブリッジ	ひかり電話ルータまたはホームゲートウェイを使用して、IPv6 over IPv4 トンネルサービスを使用する場合	☛7-18 ページ
	PPPoE ルータ	ひかり電話ルータまたはホームゲートウェイを使用せずに、IPv6 over IPv4 トンネルサービスを使用する場合	☛7-21 ページ
	ローカルルータ	WAN 側のルータを経由して、IPv6 over IPv4 トンネルサービスを使用する場合	☛7-24 ページ

6 「設定」をクリックし、本製品を再起動する

7 「再表示」をクリックする

画面の指示にしたがって「再表示」をクリックしてください。

7 本製品の設定をする

8 「Web 設定」のトップ画面が表示される

「Web 設定」のトップ画面が表示されます。

9 「プロバイダからのご案内」の記載内容にしたがい、インターネットへの接続確認を実施する

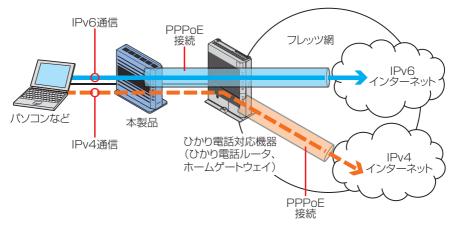
以上で設定は完了です。

Web ブラウザを閉じて「Web 設定」を終了してください。
PPP ランプが緑点灯または橙点灯することを確認してください。
PPP ランプが緑点灯または橙点灯しない場合は「9 章　故障かな？と思ったら」を参照してください。

- 本製品の IPv6 動作モードを PPPoE ルータに設定し、本製品をひかり電話ルータまたはホームゲートウェイなどの WAN 側 IPv4 ルータへ接続する環境で、本製品から IPv6 インターネット接続ができない（本製品全面の PPP ランプが緑点灯または橙点灯していない）場合は、WAN 側 IPv4 ルータの PPPoE セッションを本製品以外の端末で占有していないか確認してください。本製品以外の端末から接続した PPPoE セッションを適宜切断する必要があります。
- 本項の手順は本製品が工場出荷状態にある場合のみ実行可能です。初期設定後に、設定内容の確認や変更のため「Web 設定」を開く場合は、手順 1 に続いて手順４の画面が表示されます。手順２で設定した機器設定用のパスワードを入力し、ログインしてください。ログインすると「Web 設定」のトップ画面が表示されます。
- 説明に使用している画面表示は、お使いの Web ブラウザや OS によって異なる場合があります。
- 本製品が対応するブラウザについては「パソコンの準備」（☛1-5 ページ）をご覧ください。
- 「Web 設定」の画面デザインは変更になることがあります。
- 「Web 設定』以外の設定を実行中は「Web 設定」での設定は行えません。

ひかり電話ルータまたはホームゲートウェイを使用する場合

IPv6 動作モード	PPPoE ルータ	IPv4 動作モード	ブリッジ

※設定作業を行う前に、必ず本製品付属の資料「プロバイダからのご案内」にて動作モード、接続先の設定方法をご確認ください。

※図は接続のイメージを示しています。

ひかり電話ルータまたはホームゲートウェイを使用し IPv4 インターネットに接続している環境で、本製品を使って IPv6 インターネットに接続する場合、以下の手順にしたがって設定を行ってください。

1 IPv6 動作モードに「PPPoE ルータ」を選択し、IPv4 動作モードに「ブリッジ」を選択する

2 「次へ」をクリックする

7 本製品の設定をする

3 プロバイダから提供された情報にしたがって接続先の設定（IPv6）の認証 ID［接続 ID など］、認証パスワード［接続パスワード など］を入力する

●接続先名

接続先を識別するための名前です。任意の名前を入力できます。

使用できるのは、全角文字、半角英数字、半角カタカナおよび記号です。また、文字数は半角英数字および半角記号のみの場合は 64 文字以内、全角文字および半角カタカナを含む場合は 32 文字以内です。

●認証 ID［接続 ID など］

PPP サーバに送信する認証 ID［接続 ID など］です。

一般に認証 ID［接続 ID など］は契約したプロバイダから提供されます。プロバイダから提供された資料にしたがって入力してください。

例：xxxxxxxx@□□□.△△△.ne.jp

●認証パスワード［接続パスワード など］

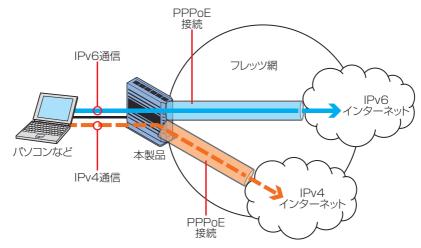
PPP サーバに送信する認証パスワード［接続パスワード など］です。

一般に認証パスワード［接続パスワード など］は認証 ID［接続 ID など］とともに契約したプロバイダから提供されます。プロバイダから提供された資料にしたがって入力してください。

手順 6（☞7-9 ページ）へ戻ってください。

ひかり電話ルータまたはホームゲートウェイを使用しない場合

IPv6 動作モード	PPPoE ルータ	IPv4 動作モード	PPPoE ルータ

※設定作業を行う前に、必ず本製品付属の資料「プロバイダからのご案内」にて動作モード、接続先の設定方法をご確認ください。

※図は接続のイメージを示しています。

ひかり電話ルータまたはホームゲートウェイを使用せずに、本製品を使って IPv4 インターネットと IPv6 インターネットに接続する場合、以下の手順にしたがって設定を行ってください。

1 IPv6 動作モードに「PPPoE ルータ」を選択し、IPv4 動作モードに「PPPoE ルータ」を選択する

2 「次へ」をクリックする

3 プロバイダから提供された情報にしたがって接続先の設定（IPv6/IPv4）に認証 ID［接続 ID など］、認証パスワード［接続パスワード など］を入力する

●接続先名

接続先を識別するための名前です。任意の名前を入力できます。
使用できるのは、全角文字、半角英数字、半角カタカナおよび記号です。また、文字数は半角英数字および半角記号のみの場合は 64 文字以内、全角文字および半角カタカナを含む場合は 32 文字以内です。

●認証 ID［接続 ID など］

PPP サーバに送信する認証 ID［接続 ID など］です。
一般に認証 ID［接続 ID など］は契約したプロバイダから提供されます。プロバイダから提供された資料にしたがって入力してください。
例：xxxxxxxx@□□□.△△△.ne.jp

●認証パスワード［接続パスワード など］

PPP サーバに送信する認証パスワード［接続パスワード など］です。
一般に認証パスワード［接続パスワード など］は認証 ID［接続 ID など］とともに契約したプロバイダから提供されます。プロバイダから提供された資料にしたがって入力してください。

手順６（☛7-9 ページ）へ戻ってください。

WAN 側にルータがある場合

IPv6 動作モード	PPPoE ルータ	IPv4 動作モード	ローカルルータ

※設定作業を行う前に、必ず本製品付属の資料「プロバイダからのご案内」にて動作モード、接続先の設定方法をご確認ください。

お知らせ

●IPv4 ルータには PPPoE ブリッジ機能が必要です。

※図は接続のイメージを示しています。

本製品の WAN 側に IPv4 ルータを設置し、複数のグローバル IPv4 アドレスを使用してサーバを公開している環境で、本製品を使って IPv6 インターネットに接続する場合、以下の手順にしたがって設定を行ってください。

1 IPv6 動作モードに「PPPoE ルータ」を選択し、IPv4 動作モードに「ローカルルータ」を選択する

設定ウィザード（1／2）

設定ウィザードでは、接続に必要な最低限の設定を行います。

本画面では、お客さまのご利用環境に合わせて本製品の動作モードを設定します。

IPv6動作モード：
通常は PPPoEルータ を選択してください。プロバイダから指定があった場合は IPv6 over IPv4トンネルルータ を選択してください。

IPv4動作モード：
・NTT東日本、西日本のひかり電話対応機器（ひかり電話対応ルータ、ホームゲートウェイ）をご利用のお客さまは ブリッジ を選択してください。
・ひかり電話対応機器のご利用が無いお客さまは PPPoEルータ を選択してください。
（本製品にて IPv4 の PPPoE終端を行う場合、PPPoEルータ を選択してください。ひかり電話ルータやホームゲートウェイなど、本製品以外の機
PPPoE終端 を行う場合は、ブリッジ を選択してください。）

動作モード設定

IPv6動作モード	PPPoEルータ
IPv4動作モード	ローカルルータ

次へ

2 「次へ」をクリックする

3 プロバイダから提供された情報にしたがって接続先の設定（IPv6）の認証 ID［接続 ID など］、認証パスワード［接続パスワード など］を入力する

●接続先名

接続先を識別するための名前です。任意の名前を入力できます。
使用できるのは、全角文字、半角英数字、半角カタカナおよび記号です。また、文字数は半角英数字および半角記号のみの場合は 64 文字以内、全角文字および半角カタカナを含む場合は 32 文字以内です。

●認証 ID［接続 ID など］

PPP サーバに送信する認証 ID［接続 ID など］です。
一般に認証 ID［接続 ID など］は契約したプロバイダから提供されます。プロバイダから提供された資料にしたがって入力してください。
例：xxxxxxxx@□□□.△△△.ne.jp

●認証パスワード［接続パスワード など］

PPP サーバに送信する認証パスワード［接続パスワード など］です。
一般に認証パスワード［接続パスワード など］は認証 ID［接続 ID など］とともに契約したプロバイダから提供されます。プロバイダから提供された資料にしたがって入力してください。

4 接続先の設定（IPv4）に接続先の情報を入力する

●DHCPv4 クライアント機能：

WAN 側の IPv4 ルータの DHCPv4 サーバ機能を利用し、IPv4 の設定を自動で行う場合は「使用する」のチェックを入れます。

※初期値は「使用する」になっています。

※DHCPv4 クライアント機能を使用しない場合は、以降の設定を入力する必要があります。

●IPv4 アドレス／マスク長：

本製品の IPv4 アドレス／マスク長を入力します。

※本設定は上記の DHCPv4 クライアント機能で「使用する」のチェックをはずした場合のみ入力します。

※WAN 側の IPv4 ルータの IPv4 アドレスと同一ネットワークになるように入力してください。

●デフォルトゲートウェイ（IPv4）：

WAN 側の IPv4 ルータの IPv4 アドレスを入力します。

※本設定は上記の DHCPv4 クライアント機能で「使用する」のチェックをはずした場合のみ入力します。

●DNS サーバアドレス（IPv4）：

WAN 側の IPv4 ルータで設定している DNS サーバアドレス（IPv4）を入力します。

※本設定は上記の DHCPv4 クライアント機能で「使用する」のチェックをはずした場合のみ入力します。

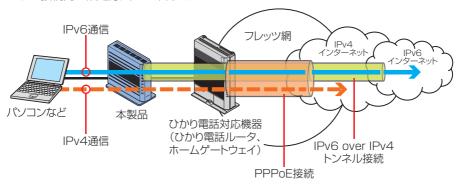
※WAN 側の IPv4 ルータの DNS Proxy 機能が有効な場合、WAN 側のルータの IPv4 アドレスを入力します。

手順６（☛7-9 ページ）へ戻ってください。

7 本製品の設定をする

IPv6 over IPv4 トンネルサービスを使用する場合（IPv4: ブリッジ）

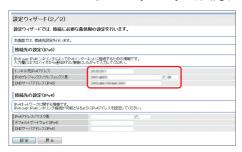
IPv6 動作モード	IPv6 over IPv4 トンネルルータ	IPv4 動作モード	ブリッジ

※設定作業を行う前に、必ず本製品付属の資料「プロバイダからのご案内」にて動作モード、接続先の設定方法をご確認ください。

※図は接続のイメージを示しています。

ひかり電話ルータまたはホームゲートウェイを使って IPv4 インターネットに接続している環境で、本製品を使って IPv6 over IPv4 トンネルサービスを使用する場合、以下の手順にしたがって設定を行ってください。

1 **IPv6 動作モードに「IPv6 over IPv4 トンネルルータ」を選択し、IPv4 動作モードに「ブリッジ」を選択する**

2 **「次へ」をクリックする**

3 プロバイダから提供された情報にしたがって接続先の設定（IPv6）にトンネル先 IPv4 アドレス、IPv6 プレフィックス／プレフィックス長、DNS サーバアドレス（IPv6）を入力する

●トンネル先 IPv4 アドレス：

IPv6 over IPv4 トンネル接続を行うための接続先機器の IPv4 アドレスです。
プロバイダから提供された資料にしたがって入力してください。

●IPv6 プレフィックス／プレフィックス長：

本製品で使用する IPv6 プレフィックス／プレフィックス長を入力します。
プロバイダから提供された資料にしたがって入力してください。

●DNS サーバアドレス（IPv6）：

IPv6 通信で使用する DNS サーバのアドレスです。
プロバイダから提供された資料にしたがって入力してください。

4 接続先の設定（IPv4）の IPv4 アドレス／マスク長、デフォルトゲートウェイ（IPv4）、DNS サーバアドレス（IPv4）を入力する

●IPv4 アドレス／マスク長：

本製品の IPv4 アドレス／マスク長を入力してください。

※ひかり電話ルータまたはホームゲートウェイの IPv4 アドレスと同一ネットワークになるように入力してください。

●デフォルトゲートウェイ（IPv4）：

ひかり電話ルータまたはホームゲートウェイの IPv4 アドレスを入力してください。

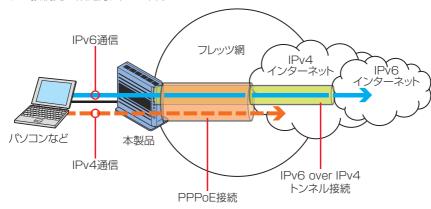
●DNS サーバアドレス（IPv4）：

ひかり電話ルータまたはホームゲートウェイの IPv4 アドレスを入力してください。

手順６（☛7-9 ページ）へ戻ってください。

IPv6 over IPv4 トンネルサービスを使用する場合（IPv4: PPPoE ルータ）

IPv6 動作モード	IPv6 over IPv4 トンネルルータ	IPv4 動作モード	PPPoE ルータ

※設定作業を行う前に、必ず本製品付属の資料「プロバイダからのご案内」にて動作モード、接続先の設定方法をご確認ください。

※図は接続のイメージを示しています。

本製品を使って IPv4 インターネットに接続し、IPv6 over IPv4 トンネルサービスを使用する場合、以下の手順にしたがって設定を行ってください。

1 **IPv6 動作モードに「IPv6 over IPv4 トンネルルータ」を選択し、IPv4 動作モードに「PPPoE ルータ」を選択する**

2 **「次へ」をクリックする**

3 プロバイダから提供された情報にしたがって接続先の設定（IPv6）のトンネル先 IPv4 アドレス、IPv6 プレフィックス / プレフィックス長、DNS サーバアドレス（IPv6）を入力する

●トンネル先 IPv4 アドレス：
IPv6 over IPv4 トンネル接続を行うための接続先機器の IPv4 アドレスです。
プロバイダから提供された資料にしたがって入力してください。

●IPv6 プレフィックス／プレフィックス長：
本製品で使用する IPv6 プレフィックス／プレフィックス長を入力します。
プロバイダから提供された資料にしたがって入力してください。

●DNS サーバアドレス（IPv6）：
IPv6 通信で使用する DNS サーバのアドレスです。
プロバイダから提供された資料にしたがって入力してください。

4 プロバイダから提供された情報にしたがって接続先の設定（IPv4）の認証 ID［接続 ID など］、認証パスワード［接続パスワード など］、フレッツ・スクウェア接続を入力する

設定ウィザード（2／2）

設定ウィザードでは、接続に必要な最低限の設定を行います。

本画面では、接続先設定を行います。

接続先の設定（IPv6）

IPv6 over IPv4トンネリングによってIPv6インターネットに接続するための情報です。
入力欄にはプロバイダから通知された情報にしたがって入力してください。

トンネル先IPv4アドレス	
IPv6プレフィックス/プレフィックス長	/
DNSサーバアドレス（IPv6）	

接続先の設定（IPv4）

IPv4インターネットに接続するための情報です。
入力欄にはプロバイダから通知された 認証ID［接続IDなど］、認証パスワード［接続パスワード など］を入力してください。

接続先名	ISP(IPv4)
認証ID［接続IDなど］	
認証パスワード［接続パスワード など］	●●●●●●●●●
フレッツ・スクウェア接続	設定しない

設定　戻る

●接続先名

接続先を識別するための名前です。任意の名前を入力できます。
使用できるのは、全角文字、半角英数字、半角カタカナおよび記号です。また、文字数は半角英数字および半角記号のみの場合は 64 文字以内、全角文字および半角カタカナを含む場合は 32 文字以内です。

●認証 ID［接続 ID など］

PPP サーバに送信する認証 ID［接続 ID など］です。
一般に認証 ID［接続 ID など］は契約したプロバイダから提供されます。プロバイダから提供された資料にしたがって入力してください。
例：xxxxxxxx@□□□.△△△.ne.jp

●認証パスワード［接続パスワード など］

PPP サーバに送信する認証パスワード［接続パスワード など］です。
一般に認証パスワード［接続パスワード など］は認証 ID［接続 ID など］とともに契約したプロバイダから提供されます。プロバイダから提供された資料にしたがって入力してください。

●フレッツ・スクウェア接続：

お客様のご契約内容によりフレッツ・スクウェア接続の接続先を選択してください。
フレッツ・スクウェア接続を利用しない場合は、「設定しない」(初期値) を選択してください。

手順 6（☛7-9 ページ）へ戻ってください。

7 本製品の設定をする

IPv6 over IPv4 トンネルサービスを使用する場合（IPv4: ローカルルータ）

IPv6 動作モード	IPv6 over IPv4 トンネルルータ	IPv4 動作モード	ローカルルータ

※設定作業を行う前に、必ず本製品付属の資料「プロバイダからのご案内」にて動作モード、接続先の設定方法をご確認ください。

※図は接続のイメージを示しています。

本製品の WAN 側に IPv4 ルータを設置し、複数のグローバル IPv4 アドレスを使用してサーバを公開している環境で、本製品を使って IPv6 over IPv4 トンネルサービスを使用する場合、以下の手順にしたがって設定を行ってください。

1 IPv6 動作モードに「IPv6 over IPv4 トンネルルータ」を選択し、IPv4 動作モードに「ローカルルータ」を選択する

2 「次へ」をクリックする

3 プロバイダから提供された情報にしたがって接続先の設定（IPv6）のトンネル先 IPv4 アドレス、IPv6 プレフィックス／プレフィックス長、DNS サーバアドレス（IPv6）を入力する

●トンネル先 IPv4 アドレス：
IPv6 over IPv4 トンネル接続を行うための接続先機器の IPv4 アドレスです。
プロバイダから提供された資料にしたがって入力してください。

●IPv6 プレフィックス／プレフィックス長：
本製品で使用する IPv6 プレフィックス / プレフィックス長を入力します。
プロバイダから提供された資料にしたがって入力してください。

●DNS サーバアドレス（IPv6）：
IPv6 通信で使用する DNS サーバのアドレスです。
プロバイダから提供された資料にしたがって入力してください。

4 接続先の設定（IPv4）に接続先の情報を入力する

●DHCPv4 クライアント機能：

WAN 側の IPv4 ルータの DHCPv4 サーバ機能を利用し、IPv4 の設定を自動で行う場合は「使用する」のチェックを入れます。

※初期値は「使用する」になっています。

※DHCPv4 クライアント機能を使用しない場合は、以降の設定を入力する必要があります。

●IPv4 アドレス／マスク長：

本製品の IPv4 アドレス／マスク長を入力します。

※本設定は上記の DHCPv4 クライアント機能で「使用する」のチェックをはずした場合のみ入力します。

※WAN 側の IPv4 ルータの IPv4 アドレスと同一ネットワークになるように入力してください。

●デフォルトゲートウェイ（IPv4）：

WAN 側の IPv4 ルータの IPv4 アドレスを入力します。

※本設定は上記の DHCPv4 クライアント機能で「使用する」のチェックをはずした場合のみ入力します。

●DNS サーバアドレス（IPv4）：

WAN 側の IPv4 ルータで設定している DNS サーバアドレス（IPv4）を入力します。

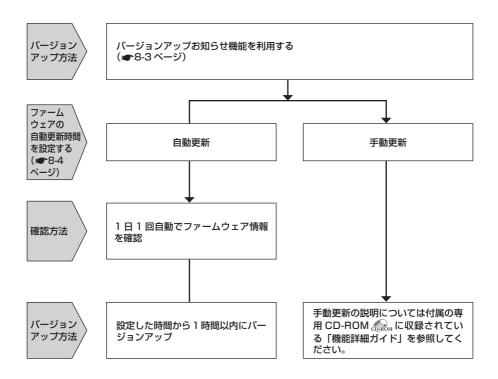
※本設定は上記の DHCPv4 クライアント機能で「使用する」のチェックをはずした場合のみ入力します。

※WAN 側の IPv4 ルータの DNS Proxy 機能が有効な場合、WAN 側のルータの IPv4 アドレスを入力します。

手順6（☛7-9 ページ）へ戻ってください。

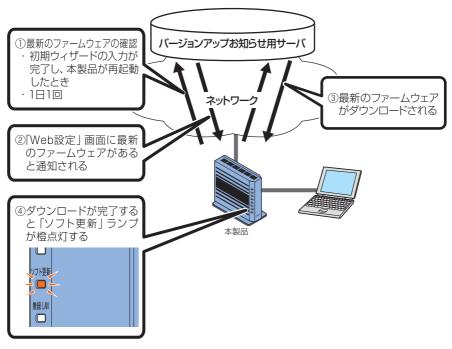
8 本製品のバージョンアップについて

8-1 バージョンアップの流れ

本製品のバージョンアップは以下の手順で行います。
※自動更新の説明については、「ファームウェアの自動更新時間を設定する」（☛8-4 ページ）を参照してください。

8-2 バージョンアップお知らせ機能

機能概要

バージョンアップお知らせ機能は、バージョンアップお知らせ用サーバと通信を行い、最新のファームウェアの有無を自動確認する機能です。
最新のファームウェアが提供されている場合は自動的にダウンロードします。
この機能は、本製品の初期ウィザードの入力が完了し、本製品が再起動したとき、または定期的に 1 日 1 回動作します。（機能動作には、IPv6 通信の設定が必要です）
ファームウェアのダウンロードが完了すると「ソフト更新」ランプが橙点灯します。
※ファームウェアとは、本製品を動かすソフトウェアのことです。

8 本製品のバージョンアップについて

ファームウェアの自動更新時間を設定する

バージョンアップお知らせ機能で確認した最新のファームウェアに、いつバージョンアップするかを設定します。
最新のファームウェアが確認されると、あらかじめ設定された時間帯に合わせて、自動的にファームウェアの更新を行います。
自動更新時間は、初期値で午前1時～午前5時のいずれかの時間帯に設定され、設定された時間帯から59分以内に約1分間で更新されます。

【例】自動更新時間『3：00』と設定されている場合、実際に更新されるのは、『3：00 ～ 3：59』の間のいずれかの時間となります。

ファームウェアの自動更新が実行されると、ご利用中のインターネットや映像コンテンツ視聴などの各サービスが中断される場合があります。

1 Web ブラウザから「Web 設定」の画面を開く

付属の専用 CD-ROM に収録されているメニュー画面から「DS-RA01 の設定をする」をクリックし、「Web 設定」の画面を開いてください。

※画面は Windows® で「メニュー画面」を表示した場合の例です。
※付属の専用 CD-ROM からメニュー画面を開く方法は「7-1 専用 CD-ROM の使いかた」を参照してください。

また、Web ブラウザを起動し、「http://websetup.jp/」と入力し、「Web 設定」画面を開いてください。

2 メニューの［メンテナンス］－［ファームウェア更新］をクリックする

3 ［自動更新時間］をクリックし、指定する時刻を選択する

4 ［設定］をクリックする

お知らせ

●お客様のご利用状況によっては、設定された時間内にファームウェアの更新が行われない場合があります。

お願い

- 本製品は自動的に最新のファームウェアの有無を確認し、最新のファームウェアが提供されている場合は自動的にダウンロードを行います。ダウンロードに失敗した場合は、ファームウェアの自動更新時間に再度ダウンロードを行います。お客様の操作によるファームウェアのバージョンアップ中は、本製品前面のアラームランプが赤点灯し、ソフト更新ランプが橙点灯します。なお、この機能の動作には、IPv6 通信の設定が必要です。
- ファームウェアのバージョンアップ中は、電源を切らないでください。
- 本製品に最新のファームウェアがダウンロードされた状態で、本製品を再起動すると、自動的に最新のファームウェアに更新されます。手動更新に設定された状態で再起動更新の設定が無効になっている場合は、自動的にバージョンアンプされません。再起動更新の設定は有効にすることをお勧めします。
- 本製品を工場出荷状態で起動したときに、最新のファームウェアが提供されている場合は、自動的に最新のファームウェアへ更新されます。最新のファームウェアをダウンロード後、本製品が再起動しますので、しばらくお待ちください。
- バージョンアップを行うと本製品が再起動し、通信が切断されます。バージョンアップを行う前に、LAN 側につないだパソコンなどの通信は終了させてください。
- ファームウェアの自動更新が実施されると、ご利用中のインターネットや映像コンテンツ視聴などの各サービスが中断される場合があります。
- お客様のご利用状況によっては、設定された時間内にファームウェアの更新および再起動が行われない場合があります。
- 無線 LAN 簡単セットアップ中は本製品のバージョンアップを完了させることができません。無線LAN簡単セットアップの操作を終了させてから再度バージョンアップを行ってください。
- 本製品のファームウェアの更新中や、ファームウェアの更新予約中、本製品の再起動を行っている場合、他の設定を実行中は、本製品へのバージョンアップ操作は行えません。
- このバージョンアップは、全ての機能のバージョンアップを保証するものではありません。
- バージョンアップする前に現状の設定値を保存しておくことをお勧めします。

8-3 ファームウェア情報を確認する

本製品のファームウェアバージョンを確認する

本製品に接続されたパソコンの Web ブラウザで「機器情報」ページを開くと、ユーザー名やパスワードを入力せずに、本製品の現在のファームウェアバージョンなどを確認できます。

1. Web ブラウザを起動し、「http://websetup.jp/info」と入力し、「機器情報」ページを開く

2. [現在のバージョン] に本製品の現在のファームウェアバージョンが表示されていることを確認する

3. 続けて本製品の設定をする場合は、[トップページへ戻る]をクリックする

「Web 設定」画面のトップページが表示されます。このとき、ユーザー名とパスワードの入力が必要になります。

9 故障かな？と思ったら

9-1 設置に関するトラブル

本製品のご利用方法に合わせてどこまで設置、設定できているのか現在の症状をご確認のうえ、その原因と対策をご覧ください。

本製品前面の電源ランプは緑点灯していますか？	→いいえ（a 参照）
↓はい	
本製品前面のアラームランプは消灯していますか？	→いいえ（b 参照）
↓はい	
本製品前面の WAN ランプは緑点灯していますか？	→いいえ（c 参照）
↓はい	
本製品背面の LINK ランプは緑点灯していますか？	→いいえ（d 参照）
↓はい	
パソコンの IP アドレス（IPv6 ／ IPv4）が自動設定になっていますか？	→いいえ（e 参照）
↓はい	
Web ブラウザで本製品の「Web 設定」画面が表示されますか？	→いいえ（f 参照）
↓はい	
設定後、本製品前面の PPP ランプが緑点灯または橙点灯していますか？	→いいえ（g 参照）
↓はい	
インターネットに接続できましたか？	→いいえ（h 参照）
↓はい	
上記以外の症状が発生していますか？	→いいえ（i 参照）

a. 本製品の電源ランプが緑点灯しない

症　状	原因と対策
電源ランプが緑点灯しない	●電源アダプタ（電源プラグ）が壁などの電源コンセントから外れていないか確認してください。 ●電源コンセントに他の電気機器を接続して電気が来ているか確認してください。 ●電源アダプタ（電源プラグ）がパソコンの電源に連動した電源コンセントに差し込まれている場合は、壁などの電源コンセントに直接接続してください。（パソコンの電源が切れると、本製品に供給されている電源も切れてしまいます。） ●電源アダプタ（電源プラグ）のコードが破損していないか確認してください。破損している場合はすぐに電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜き、付属の「プロバイダからのご案内」に記載されているお問い合わせ先へご連絡ください。

b. 本製品前面のアラームランプが消灯していない

症　状	原因と対策
アラームランプが赤点灯している	●ソフト更新ランプも橙点灯している場合は、ファームウェアのダウンロード中、更新中です。ファームウェアのダウンロード中、更新中は、本製品の電源を切らないでください。 ●本製品で異常が発生しています。約 15 分間待ってもアラームランプが赤点灯している場合は、本製品の電源を入れ直してください。電源を入れ直す際は、10 秒以上の間隔を空けてください。電源を入れ直しても復旧しない場合は、付属の「プロバイダからのご案内」に記載されているお問い合わせ先へご連絡ください。

c. 本製品前面の WAN ランプが緑点灯しない

症　状	原因と対策
WAN ランプが緑点灯しない	●本製品と回線終端装置（ONU）または VDSL モデムの両方に電源が入っていることを確認してください。ひかり電話対応機器（ひかり電話ルータ、ホームゲートウェイ）に本製品が接続されている場合には、そちらの電源が入っていることを確認してください。（直接 RJ-45 モジュラージャックにつないでいる場合は、本製品の電源が入っていることを確認してください。） ●LAN ケーブル（紫）が本製品の WAN ポートと回線終端装置（ONU）、VDSL モデム、壁のモジュラージャックまたはひかり電話対応機器（ひかり電話ルータ、ホームゲートウェイ）の LAN ポートの両方に「カチッ」と音がするまで差し込まれているか、確認してください。

d. 本製品背面の LINK ランプが緑点灯しない

症　状	原因と対策
LINK ランプが緑点灯しない	●本製品とパソコンの両方に電源が入っていることを確認してください。 ●LAN ボードまたは LAN カードがパソコンに正しく設定されているかを確認してください。 ●LAN ケーブル（橙）が本製品の LAN ポートとパソコンの両方に「カチッ」と音がするまで差し込まれているか確認してください。 ●本製品に付属している LAN ケーブル（橙）をお使いください。 ●再度本書の「3-1 接続方法 」をご覧のうえ、配線の確認をしてください。また、パソコンが LAN ポートまたは LAN カードがパソコンに正しく設定されているかを確認してください。 ●1 Gbps（1000 Mbps）に対応していない LAN ケーブルの場合、通信速度が遅くなる場合や接続できなくなる場合があります。お客様で LAN ケーブルをご用意いただく場合、LAN ポートで 1 Gbps（1000 Mbps）の通信をご利用になるときは 1 Gbps（1000 Mbps）に対応した LAN ケーブルをご用意ください。

e. パソコンの IP アドレス（IPv6 ／ IPv4）が自動設定されていない

症　状	原因と対策
パソコンに IP アドレス（IPv6/IPv4）が設定されていない	●パソコンの設定が「IP アドレスを自動的に取得する」もしくは「DHCP サーバを使用」になっている事を確認してください。パソコンの IP アドレス（IPv6/IPv4）が自動的に設定されるためには、本製品がパソコンより先に起動され、装置内部の処理が完了している必要があります。下記のどちらかの方法で確認してください。 （ア）パソコンの電源を切り、再度パソコンの電源を入れてください。起動後、「4 章 有線 LAN でパソコンを接続する」または「5 章 無線 LAN でパソコンを接続する」をご覧のうえ、再度パソコンの IP アドレス（IPv6/IPv4）を確認してください。 （イ）「4 章 有線 LAN でパソコンを接続する」または「5 章 無線 LAN でパソコンを接続する」をご覧のうえ、パソコンのネットワークの設定を行ってください。

f. Web ブラウザで本製品の「Web 設定 」画面が表示されない

症　状	原因と対策
Web ブラウザで本製品の「Web 設定 」画面が表示されない	●パソコンのネットワーク設定が間違っていないかどうか「4 章 有線 LAN でパソコンを接続する」または「5 章 無線 LAN でパソコンを接続する」をご覧のうえ確認してください。 ●Web ブラウザや OS の設定で「プロキシサーバーを使用する」になっている場合、本製品の「Web 設定」画面が表示されないことがあります。 ●ダイヤルアップの設定がある場合は、パソコンの［インターネットオプション］の［接続］で［ダイヤルしない］が選択されていることを確認してください。 ●ファイアウォール、ウィルスチェックなどのソフトウェアが終了されていることをご確認ください。 ●本製品の［ポートセパレート］を「使用する」に設定していると、本製品の無線 LAN 接続された端末で「Web 設定」画面を表示できない場合があります。 本製品の［ポートセパレート］の設定を確認してください。詳細は「機能詳細ガイド」をご覧ください。
Web ブラウザで、本製品の「Web 設定」画面が正常に表示されない、または操作が正常にできない	●お使いの Web ブラウザの設定で「JavaScript ™」を有効に設定してください。 ●お使いの Web ブラウザの設定が本製品に対応しているか「パソコンの準備」（☛1-5 ページ）をご覧のうえ、確認してください。

g. 本製品の前面の PPP ランプが緑点灯または橙点灯しない

症　状	原因と対策
PPP ランプが消灯している	●「Web 設定」の［基本設定］－［接続先設定（IPv6）］で［接続先名］をクリックし、接続したい接続先の情報（認証 ID［接続 ID など］、認証パスワード［接続パスワード など］）が正しく入力されているか確認してください。 ●「Web 設定」の［基本設定］－［接続先設定（IPv4）］で接続したい接続先の［接続可］にチェックが入っているかを確認してください。 ●「Web 設定」の［基本設定］－［接続先設定（IPv4）］で［接続先選択］をクリックし、接続したい接続先の情報（認証 ID［接続 ID など］、認証パスワード［接続パスワード など］）が正しく入力されているか確認してください。 ●「Web 設定」の［基本設定］－［接続先設定（IPv4）］で［接続先名］をクリックし、［接続モード］を「要求時接続」に設定している場合、パソコンからインターネット接続を開始するまで、PPP ランプは消灯したままです。 ●本製品をひかり電話対応機器（ひかり電話ルータ、ホームゲートウェイ）へ接続する構成で、本製品からのインターネット接続ができない（本製品前面 PPP ランプが緑点灯または橙点灯しない）場合は、本製品以外の端末から接続した PPPoE セッションを適宜切断する必要があります。PPPoE セッションを本製品以外で占有していないか確認してください

h. インターネットに接続できない

症　状	原因と対策
インターネット上のホームページが開けない	●Web ブラウザや OS の設定で「プロキシサーバーを使用する」になっている場合、ホームページが表示されない事があります。 ●ダイヤルアップの設定がある場合は、パソコンの「インターネットオプション」の [接続] で [ダイヤルしない] が選択されていることを確認します。 ●「Web 設定」のトップページで、接続したい接続先の【状態】が「確立」と表示していることを確認してください。

i. その他

症　状	原因と対策
その他の症状が発生している	●最新のファームウェアが適用されているか確認してください。 ●本製品の初期化および再設定を行ってください。改善しない場合は、付属の「プロバイダからのご案内」に記載されているお問い合わせ先へご連絡ください。 初期化方法については「10-4 本製品の初期化」を参照してください。

9-2 ご利用開始後のトラブル

ご利用開始後のトラブルについては、現在の症状をご確認のうえ、以下のページでその原因と対策をご覧ください。
症状が改善しない場合は、最新のファームウェアへのバージョンアップについてもお試しいただくことをお勧めします。

症　状	原因と対策
インターネットへのアクセスが遅い	●接続先サーバが混んでいる可能性があります。しばらく時間をおいてから、アクセスしてください。 接続先のプロバイダやインターネット上の経路が他の通信で混んでいる可能性があります。しばらく時間をおいてからアクセスしてください。 また、ウィルスに感染しているなど、お客様のパソコン状況によっては、アクセスの速度が低下する場合もあります。
LAN ポートで通信速度が出ないまたは接続できない	●1 Gbps（1000 Mbps）に対応していない LAN ケーブルの場合、通信速度が遅くなる場合接続できなくなる場合があります。お客様で LAN ケーブルをご用意いただく場合、LAN ポートで 1 Gbps（1000 Mbps）の通信をご利用になるときは 1 Gbps（1000 Mbps）に対応した LAN ケーブルをご用意ください。
前回はできたのにインターネット接続ができない	●本製品の電源を切った後、すぐに電源を入れないでください。10 秒以上の間隔を空けてから電源を入れてください。IP アドレス（IPv6/IPV4）が自動的に設定されるためには、本製品がパソコンより先に起動され、本製品内部の処理が完了している必要があります。下記のどちらかの手順にしたがって確認してください。 （ア）パソコンの電源を切り、再度パソコンの電源を入れます。起動後、「4 章 有線 LAN でパソコンを接続する」または「5 章　無線 LAN でパソコンを接続する」をご覧のうえ、再度パソコンの設定を確認してください。 （イ）次の手順で IP アドレスを設定し直してください。 **IPv6 アドレスの場合** 〈Windows® 7/ Windows Vista®/Windows® XP の場合〉 ①［スタート］（Windows® のロゴボタン）－［すべてのプログラム］－［アクセサリ］－［コマンドプロンプト］をクリックします。 ②「ipconfig /renew6」と入力して、［Enter］を押します。 ③IPv6 アドレスが表示されることを確認します。 〈Mac OS X（10.4/10.5）の場合〉 ①［アップルメニュー］から［システム環境設定］を開き、［ネットワーク］アイコンをクリックします。 ②［TCP/IP］タブをクリックして［表示］を［ネットワークポート設定］にして、内蔵 Ethernet のチェックを外し、［今すぐ適用］をクリックします。 ③再度、内蔵 Ethernet のチェックを入れ、［今すぐ適用］をクリックします。 ④［表示］を「内蔵 Ethernet」にして、IPv6 アドレスになることを確認します。 〈Mac OS X（10.6）の場合〉 ①［アップルメニュー］から［システム環境設定］を開き、［ネットワーク］アイコンをクリックします。 ②［Ethernet］タブをクリックし、下段の設定ボタン（プルダウン）メニューから［サービスを無効にする］を選択します。 ③［Ethernet］の［状況］が停止になっていることを確認します。 ④再度、下段の設定ボタン（プルダウン）メニューから［サービスを有効にする］を選択します。 ⑤右下の［詳細］をクリックし［TCP/IP］タブの画面にて、IPv6 アドレスが表示されていることを確認します。

症　状	原因と対策
前回はできたのにインターネット接続ができない	**IPv4 アドレスの場合** ・LAN 内に手動で設定している IPv4 アドレスがあるかどうか確認してください。 ・［OK］をクリックして次の手順で IPv4 アドレスを取り直してください。なお、このエラーが表示された場合、もう 1 台のパソコンで同様のエラーが表示されることがあります。その場合はエラー表示された全てのパソコンで下記手順を行ってください。 〈Windows® 7、Windows Vista® および Windows® XP の場合〉 ① ［スタート］（Windows® のロゴボタン）－［すべてのプログラム］－［アクセサリ］－［コマンドプロンプト］をクリックします。 ②「ipconfig /renew」を入力して［Enter］キーを押します。 ③IPv4 アドレスが［192.168.xxx.xxx］になることを確認します。 〈Mac OS の場合〉 ① ［アップルメニュー］から［システム環境設定］を開き、［ネットワーク］アイコンを選択します。 ② ［TCP/IP］タブをクリックして［表示］を［ネットワークポート設定］にして、内蔵 Ethernet のチェックを外し、［今すぐ適用］をクリックします。 ③再度、内蔵 Ethernet のチェックを入れ、［今すぐ適用］をクリックします。 ④ ［表示］を「内蔵 Ethernet」にして、IPv4 アドレスが［192.168.xxx.xxx］になることを確認します。
本製品の LAN 側に接続した端末同士での通信ができない	●本製品の LAN 側に接続された端末同士が、ドメインを用いて行う通信に対応できない場合があります。 通信相手となる端末の IPv6 アドレスを指定することで、通信が可能となる場合があります。
ファームウェアの更新ができない	●本製品のファームウェアの更新中や、ファームウェアの更新予約中、本製品の再起動を行っている場合、本製品へのバージョンアップ操作は行えません。
アラームランプが赤点灯する	●ソフト更新ランプも橙点灯している場合は、ファームウェアのダウンロード中、更新中です。ファームウェアのダウンロード中、更新中は、本製品の電源を切らないでください。 ●本製品で異常が発生しています。約 15 分間待ってもソフト更新ランプが赤点灯している場合は、本製品の電源を入れ直してください。電源を入れ直す際は、10 秒以上の間隔を空けてください。 電源を入れ直しても復旧しない場合は、付属の「プロバイダからのご案内」に記載されているお問い合わせ先へご連絡ください。
無線 LAN 通信ができない	●「Web 設定」の [無線 LAN 設定] － [無線 LAN 設定] で本製品と接続する無線 LAN 端末の使用チャネルが一致していることを確認してください。 自動設定でつながらない場合は無線 LAN 端末の設定を確認して、使用チャネルの設定を変更してください。 ●暗号化方式で WEP をご利用になる場合、使用する WEP キー（キーインデックス）および WEP キー（WEP キー 1 ～ 4）の設定は本製品と接続する無線 LAN 端末との間で同じ設定としてください。 （☛「機能詳細ガイド」の「Web 設定について」－［無線 LAN 設定］－［無線 LAN 設定］－［使用する WEP キー（キーインデックス）］）

症　状	原因と対策
無線 LAN 通信ができない	●本製品の MAC アドレスフィルタリングが「使用する」となっている場合は、無線 LAN 端末の MAC アドレスを MAC アドレスフィルタリングのエントリに登録する必要があります。 （☛「機能詳細ガイド」の「Web 設定について」－［無線 LAN 設定］－［MAC アドレスフィルタリング］－［接続を許可する無線 LAN 端末の MAC アドレス編集］） ●本製品に IEEE802.11n 方式対応の無線LAN 端末を接続する際、無線 LAN 端末の暗号化方式を WPA-PSK（TKIP）または WPA2-PSK（TKIP）に設定していると接続できない場合があります。 無線 LAN 端末の暗号化方式を WPA-PSK（AES）または WPA2-PSK（AES）に変更するか、動作モードを IEEE802.11g 方式または IEEE802.11b 方式に変更して使用してください。 ●上記を確認しても、無線 LAN 通信ができない場合は付属の「プロバイダからのご案内」に記載されているお問い合わせ先へご連絡ください。
「無線 LAN 簡単接続機能（WPS 機能）」が成功しない	●MAC アドレスフィルタリングの全てのエントリが登録済みになっている →本製品の MAC アドレスフィルタリングの全てのエントリが登録済みになっていると「無線 LAN 簡単接続機能（WPS 機能）」の設定ができません。「Web 設定」の［無線 LAN 設定］－［MAC アドレスフィルタリング］で本製品の MAC アドレスフィルタリングの設定を確認してください。 ●本製品の使用する WEP キー（キーインデックス）が WEP キー 1 になっていない →無線 LAN 端末で WEP キー２～４は対応していない場合があります。 「Web 設定」の［無線 LAN 設定］－［無線 LAN 設定］－［マルチ SSID 設定（■ SSID-2 を選択した場合）］の［使用する WEP キー（キーインデックス）］で本製品の無線の暗号化設定を確認してください。 ●本製品と無線 LAN 端末で使用可能な暗号化方式や暗号化強度が一致していない →無線 LAN 端末の取扱説明書などで使用可能な暗号化方式や暗号化強度を確認し、本製品に設定してください。 ●本製品に他の設定を行っている →本製品の設定中は「無線 LAN 簡単接続機能（WPS 機能）」での設定は行えません。他の設定が終了してから行ってください。 ●2 台以上のパソコンで無線 LAN 簡単接続機能（WPS 機能）を起動している →2 台以上のパソコンで無線 LAN 簡単接続機能（WPS 機能）を起動している場合は、「無線 LAN 簡単接続機能（WPS 機能）」の設定に失敗します。1 台ずつ設定を行ってください。 ●Windows® 7 搭載の無線 LAN 内蔵パソコンが接続できない。 →本製品の「ESSID ステルス機能」の「使用する」のチェックを外す（☛「機能詳細ガイド」の「Web 設定について」－［無線 LAN 設定］－［無線 LAN 設定］－［ESSID ステルス機能］）、またはパソコンで「ネットワークが名前（SSID）をブロードキャストしていない場合でも接続する」の設定を行ってください。

10 付録

10-1 ゲーム機の無線 LAN の設定について

Xbox 360 の場合

※Xbox 360（初期型）の場合、本体に無線機能が搭載されておりません。
無線接続を行うには、別売の無線 LAN 子機、「ワイヤレス LAN アダプター N」（発売元：日本マイクロソフト株式会社）を取り付ける必要があります。
詳しくは、Xbox 360 の取扱説明書をご参照してください。
無線設定の手順は、Xbox 360 本体のソフトウェアバージョンにより若干異なります。

●ホームメニューが以下のような画面の場合

1 「マイ Xbox」に移動し、「システム設定」を選択する

2 「ネットワーク設定」を選択する

3 「ネットワークの設定」を選択する

4 「基本設定」タブで、「ワイヤレスモード」を選択する

5 「ネットワークを探す」を選択する

6 検索結果から本製品の無線ネットワーク名（SSID）を選択する

※工場出荷状態での無線ネットワーク名は、本製品側面に記載されている「SSID-1：dsra01-●●●●●●-1」を選択してください。

7 「WPA2 キー」を入力し、「完了」を選択する

※工場出荷状態での「WPA2 キー」は、本製品側面に記載されている暗号化キーを入力してください。

8 設定内容を確認し、「戻る」を選択する

9 「Xbox LIVE 接続のテスト」を選択する

10 本体のソフトウェアを更新するかどうかのメッセージが表示された場合は「はい、続けます」を選択し、ソフトウェアの更新を行う

「Xbox LIVE」に正常に接続されると、下のような画面が表示されます。

11 「Xbox LIVE」への加入を行う

※「Xbox LIVE」については、Xbox 360 本体の取扱説明書をご確認ください。

●ホームメニューが以下のような画面の場合

1 「マイ Xbox」に移動し、「システム設定」を選択する

2 「ネットワーク設定」を選択する

3 検索結果から本製品の無線ネットワーク名（SSID）を選択する

※工場出荷状態での無線ネットワーク名は、本製品側面に記載されている「SSID-1：dsra01-●●●●●●-1」を選択してください。

4 「パスフレーズ」を入力する

※工場出荷状態での「パスフレーズ」は、本製品側面に記載されている暗号化キーを入力してください。

5 本体のソフトウェアを更新するかどうかのメッセージが表示された場合は「はい」を選択し、ソフトウェアの更新を行う

「Xbox LIVE」に正常に接続されると、下のような画面が表示されます。

6 「Xbox LIVE」への加入を行う

※「Xbox LIVE」については、Xbox 360 本体の取扱説明書をご確認ください。

以上で設定は完了です。

 お知らせ

- ●本書に記載されている Xbox 360 の接続方法は、弊社が独自に検証・作成したものです。本内容についての Microsoft Corporation へのお問い合わせはご遠慮ください。
- ●本書に掲載されている Xbox 360 の画面は、2011 年 5 月時点で確認したものです。ソフトウェアの変更により画面が変更となる場合があります。その場合は、ゲーム機のマニュアルに従って操作してください。

ニンテンドー3DS の場合（無線 LAN 簡単接続機能（WPS 機能）で接続する）

ニンテンドー3DS は、本製品の無線 LAN 簡単接続機能（WPS 機能）に対応しています。

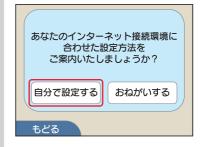
1 HOME メニュー画面で［本体設定］をタッチし、[はじめる] をタッチする

2 ［インターネット設定］をタッチする

3 ［インターネット接続設定］をタッチする

4 ［接続先の登録］をタッチする

5 ［自分で設定する］をタッチする

6 ［Wi-Fi PROTECTED SETUP］をタッチする

7 ［プッシュボタンによる接続］をタッチする

プッシュボタンによる接続

PIN 入力による接続

やめる

8 ニンテンドー3DS に下記のような画面が表示されたら、本製品背面の無線設定ボタンを 1 秒以上押し、本製品前面の無線 LAN ランプが橙点滅したら離す

アクセスポイントのWPS ボタンを
WPS ランプが点滅するまで
押し続けてください。

設定が完了するまで 2 分程度
かかる場合があります。

やめる

9 ニンテンドー3DS の画面に設定完了画面が表示されたら、［OK］をタッチする

WRS の設定が完了しました。
設定先 1 に設定を保存しています。

引き続き、インターネットへの
接続テストを行います。

OK

接続テストが成功したら、設定は完了です。

お知らせ

●本書に記載されているニンテンドー3DS の接続方法は、弊社が独自に検証・作成したものです。本内容についての任天堂へのお問い合わせはご遠慮ください。

●設定中に本製品の無線 LAN ランプが 10 秒間赤点滅した場合は、設定に失敗しています。
「9-2 ご利用開始後のトラブル」を参照してください。

ニンテンドーDSi LL/DSi の場合（無線 LAN 簡単接続機能（WPS 機能）で接続する）

ニンテンドーDSi LL/DSi は、本製品の無線 LAN 簡単接続機能（WPS 機能）に対応しています。

操作手順、操作画面は、ニンテンドーDSi を例として記載しています。

1 DSi メニュー画面で[本体設定]をタッチする

2 [インターネット］をタッチする

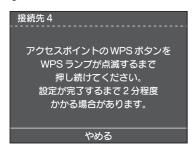
3 [接続設定］をタッチする

4 [上級者設定］をタッチする

5 接続先４～６から「未設定」と表示されている接続先の１つをタッチする

6 [Wi-Fi PROTECTED SETUP］をタッチする

7 ［プッシュボタンによる接続］をタッチする

8 ニンテンドーDSi に下記のような画面が表示されたら、本製品背面の無線設定ボタンを 1 秒以上押し、本製品前面の無線 LAN ランプが橙点滅したら離す

9 ニンテンドーDSi の画面に「WPS の設定が完了しました。接続テストを開始します。」が表示されたら、［OK］をタッチする

接続テストが成功したら、設定は完了です。

10
付録

お知らせ

- 上級者設定（接続先 4 ～ 6）は、DS 専用ソフトでは使用できません。DS 専用ソフトでインターネットに接続する場合は、通常のインターネット設定（接続先 1 ～ 3）を設定してください。
- 本書に記載されているニンテンドーDSi LL/DSi の接続方法は、弊社が独自に検証・作成したものです。本内容についての任天堂へのお問い合わせはご遠慮ください。
- 設定中に本製品の無線 LAN ランプが 10 秒間赤点滅した場合は、設定に失敗しています。
  「9-2 ご利用開始後のトラブル」を参照してください。

ニンテンドーDS Lite/DS の場合

●「MAC アドレスフィルタリング」および「無線の暗号化」の確認をする

ニンテンドーDS Lite/DS を接続する場合は、本製品の SSID-2 の「MAC アドレスフィルタリング」を「使用しない」、および「無線の暗号化」を「WEP」に設定する必要があります。設定されていない場合は、以下の手順で設定してください。

1 Web ブラウザから「Web 設定」の画面を開く

付属の専用 CD-ROM に収録されているメニューか画面から「DS-RA01 の設定をする」をクリックし、「Web 設定」画面を開いてください。

※画面は Windows® で「メニュー画面」を表示した場合の例です。

※付属の専用 CD-ROM からメニュー画面を開く方法は、「7-1 専用 CD-ROM の使いかた」を参照してください。
また、Web ブラウザを起動し、「http://websetup.jp/」と入力し、「Web 設定」画面を開いてください。

2 メニューの［無線 LAN 設定］－［無線 LAN 設定］をクリックする

3 「マルチ SSID 設定」の［dsra01-●●●●●●-2］をクリックする

4 「無線の暗号化」のプルダウンメニューから「WEP」を選択する

5 「MAC アドレスフィルタリング」の「使用する」のチェックを外す

6 ［設定］をクリックする

以上で、設定は完了です。

お知らせ

●「MAC アドレスフィルタリング」を「使用しない」に設定すると悪意ある第三者に不正に侵入される可能性があります。ご理解のうえ、ご使用ください。

●ニンテンドーDS Lite/DS 本体の設定をする

操作手順、操作画面は、ニンテンドーDS Lite を例として記載しています。

1 「Wi-Fi コネクション設定」を表示する

※「Wi-Fi コネクション設定」画面を表示する方法は、各ソフトの取扱説明書を参照してください。

2 [Wi-Fi 接続先設定] をタッチする

3 接続先 1 ～ 3 から「未設定」と表示されている接続先の 1 つをタッチする

4 [アクセスポイントを検索] をタッチする

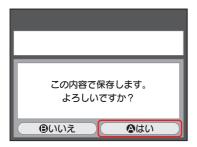
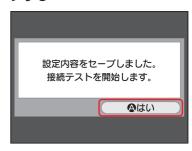
5 検索結果から、本製品の無線ネットワーク名 (SSID) をタッチする

※工場出荷時の無線ネットワーク名は、本製品側面に記載されている「SSID-2 : dsra01-●●●●●●-2」を選択してください。

10
付録

6 「WEP キー」の入力画面が表示されますので、本製品に設定されている暗号化キーと同じ値を入力し、［決定］をタッチする

※工場出荷状態での「WEP キー」は、本製品側面に記載されている暗号化キーを入力してください。

7 「この内容を保存します。よろしいですか？」と表示されるので、［はい］をタッチする

8 「設定内容をセーブしました。接続テストを開始します。」と表示されたら、［はい］をタッチする

接続テストが成功したら、設定は完了です。

お知らせ

●本書に記載されているニンテンドーDS Lite/DS の接続方法は、弊社が独自に検証・作成したものです。本内容についての任天堂へのお問い合わせはご遠慮ください。

Wii の場合

1 Wii メニュー画面で［Wii オプション］を選択する

2 ［Wii 本体設定］を選択する

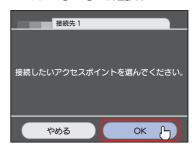
3 右矢印キーを選択して、次の画面で［インターネット］を選択する

4 ［接続設定］を選択する

5 接続先１～３から「未設定」と表示されている接続先の１つを選択する

6 ［Wi-Fi 接続］を選択する

7 ［アクセスポイントを検索］を選択する

8 アクセスポイントが検索され、「接続したいアクセスポイントを選んでください。」と表示されたら、［OK］を選択する

9 検索結果から、本製品の無線ネットワーク名（SSID）を選択する

※工場出荷時の無線ネットワーク名は、本製品側面に記載されている「SSID-1：dsra01-●●●●●●-1」を選択してください。

10 「キー」の入力を求められるので、入力欄を選択する

11 文字入力画面が表示されますので、本製品に設定されている「キー」と同じ値を入力し、[OK] を選択する

※工場出荷状態での「キー」は、本製品側面に記載されている暗号化キーを入力してください。

12 「キー」の入力画面に戻ったら、[OK] を選択する

13 「この内容を保存します。よろしいですか？」と表示されたら、[OK] を選択する

14 「設定内容を保存しました。接続テストを開始します。」が表示されたら、[OK] を選択する

接続テストが成功したら、設定完了です。

お知らせ

●本書に記載されている Wii の接続方法は、弊社が独自に検証・作成したものです。本内容についての任天堂へのお問い合わせはご遠慮ください。

10-2 パソコンの無線 LAN の設定について

Windows® 7 ／ Windows Vista® の場合のみ、以下の 2 通りの方法で無線 LAN 設定を行うことができます。

- 「Web 設定」で設定する（☛ 下記）
- PIN コードで設定する（☛10-19 ページ）

「Web 設定」で設定する

お知らせ

●設定中に無線 LAN ランプが 10 秒間赤点滅した場合は、設定に失敗しています。
無線 LAN 端末から設定を行っている場合には、「無線 LAN 簡単接続（プッシュボタン）」の［設定］ボタンをクリックした後、無線 LAN 接続が切断される場合があります。
無線 LAN の設定をする場合は、有線 LAN 端末から設定を行ってください。

1　Web ブラウザから「Web 設定」の画面を開く

付属の専用 CD-ROM に収録されているメニュー画面から「DS-RA01 の設定をする」をクリックし、「Web 設定」の画面を開いてください。

※画面は Windows® で「メニュー画面」を表示した場合の例です。

※付属の専用 CD-ROM からメニュー画面を開く方法は「7-1 専用 CD-ROM の使いかた」を参照してください。

また、Web ブラウザを起動し、「http://websetup.jp/」と入力し、「Web 設定」画面を開いてください。

2　メニューの［無線 LAN 設定］－［無線 LAN 簡単セットアップ］をクリックする

3　「無線 LAN 簡単接続機能（WPS 機能）」の［無線 LAN 簡単接続（プッシュボタン）］をクリックする

4 **通知領域（タスクトレイ）、もしくは「隠れているインジケーター」の中に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンをクリックする**

※[スタート]（Windows® のロゴボタン）－ [コントロールパネル] － [ネットワークとインターネット] － [ネットワークと共有センター] － [ネットワークに接続] をクリックする方法もあります。

5 **「dsra01-●●●●●●-1」（●●●●●●は製品によって異なります）を選択する**

※本製品に初期設定されている暗号化キー、および無線ネットワーク名（dsra01-●●●●●●-1）は、本製品の側面に記載されています。
「5-4 本製品の無線ネットワーク名、暗号化キーについて」を参照してください。

6 **［接続］をクリックする**

※手動でのセキュリティ入力を求める画面が表示された場合は、自動的に接続されるまでお待ちください。キー入力を行うと自動接続が切断されます。

10
付録

7 「Web 設定」画面に「無線 LAN 端末の登録が完了しました。」と表示されることを確認する

8 通知領域（タスクトレイ）、もしくは「隠れているインジケーター」の中に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンを再度クリックする

9 手順５で選択したネットワーク名（SSID）を右クリックし、「プロパティ」をクリックする

10 [接続]タブをクリックし、「ネットワークが名前（SSID）をブロードキャストしていない場合でも接続する」にチェックを入れ、[OK] をクリックする

以上で設定は完了です。

お知らせ

- ●設定中に無線 LAN ランプが 10 秒間赤点滅した場合や「Web 設定」画面で「無線 LAN 端末が見つかりませんでした。」などと表示された場合は、「無線 LAN 簡単接続機能（WPS 機能）」での接続に失敗しています。
「9-2 ご利用開始後のトラブル」確認後、無線 LAN ランプが緑点灯してから再度手順１から設定を行ってください。
- ●無線 LAN 簡単接続機能（WPS 機能）実行中に「Web 設定」や「無線設定ボタン」からの設定を行うと、「Web 設定」画面が正常に表示されない場合があります。

PIN コードで設定する

本製品の PIN コードを無線 LAN 端末に入力して接続する場合は以下の手順で設定を行ってください。

1 Web ブラウザから「Web 設定」の画面を開く

付属の専用 CD-ROM に収録されているメニュー画面から「DS-RA01 の設定をする」をクリックし、「Web 設定」の画面を開いてください。

※画面は Windows® で「メニュー画面」を表示した場合の例です。

※付属の専用 CD-ROM からメニュー画面を開く方法は「7-1 専用 CD-ROM の使いかた」を参照してください。

また、Web ブラウザを起動し、「http://websetup.jp/」と入力し、「Web 設定」画面を開いてください。

2 メニューの［無線 LAN 設定］－［無線 LAN 簡単セットアップ］をクリックする

3 「PIN 方式」の「使用する」にチェックする

4 ［OK］をクリックする

5 ［設定］をクリックする

6 「無線 LAN 端末の PIN コード」に無線 LAN 端末の PIN コードを入力し、［無線 LAN 簡単接続（PIN)］をクリックする

7 無線 LAN 端末側で、「本製品の PIN コード」に記載してある本製品の PIN コードを入力し、無線 LAN 簡単接続機能（WPS 機能）の PIN 方式を起動する

※無線 LAN 端末側の設定は端末ごとに異なるため、お使いの無線 LAN 端末の取扱説明書などを参照してください。

以上で設定は完了です。

10 付録

10-3 設定値の保存・復元

「Web 設定」で現在の本製品の設定内容をファイルに保存および復元できます。
設定内容をパソコンのハードディスクにバックアップファイルとして保存しておくと、保存済みのバックアップファイルから本製品に設定内容を復元することも可能です。

設定値の保存

※「設定値の復元」を行うとき、その設定値の保存時に設定されていた機器設定用パスワードが必要となります。機器設定用パスワードはお客様にて厳重に管理してください。

1 Web ブラウザから「Web 設定」の画面を開く

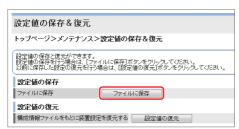
付属の専用 CD-ROM に収録されているメニュー画面から「DS-RA01 の設定をする」をクリックし、「Web 設定」の画面を開いてください。

※画面は Windows® で「メニュー画面」を表示した場合の例です。

※付属の専用 CD-ROM からメニュー画面を開く方法は「7-1 専用 CD-ROM の使いかた」を参照してください。

また、Web ブラウザを起動し、「http://websetup.jp/」と入力し、「Web 設定」画面を開いてください。

2 メニューの［メンテナンス］－［設定値の保存＆復元］をクリックする

3 ［ファイルに保存］をクリックする

4 ファイルの保存先を指定し、［保存］をクリックする

5 「ダウンロード完了」画面が表示された場合は、［閉じる］をクリックする

設定値の復元

1 **Web ブラウザから「Web 設定」の画面を開く**

付属の専用 CD-ROM に収録されているメニュー画面から「DS-RA01 の設定をする」をクリックし、「Web 設定」の画面を開いてください。

※画面は Windows® で「メニュー画面」を表示した場合の例です。

※付属の専用 CD-ROM からメニュー画面を開く方法は「7-1 専用 CD-ROM の使いかた」を参照してください。

また、Web ブラウザを起動し、「http://websetup.jp/」と入力し、「Web 設定」画面を開いてください。

2 **メニューの［メンテナンス］－［設定値の保存＆復元］をクリックする**

3 **［設定値の復元］をクリックする**

4 ［参照］をクリックする

設定値の保存＆復元
トップページ＞メンテナンス＞設定値の保存＆復元＞設定値の復元
設定ファイルの内容を読み込みます。復元を行うと現在の設定は破棄されます。
［ファイルに保存］ボタンで保存した設定ファイルを選択してください。
設定ファイルのファイル名とディレクトリ名には、全角文字および半角カナが使用できないこ
設定ファイル
設定ファイル　参照...
パスワードを入力して復元　●●●●●●●●
復元実行

5 設定内容を保存したファイルを指定し、［開く］をクリックする

6 ［復元実行］をクリックする

設定値の保存＆復元
トップページ＞メンテナンス＞設定値の保存＆復元＞設定値の復元
設定ファイルの内容を読み込みます。復元を行うと現在の設定は破棄されます。
［ファイルに保存］ボタンで保存した設定ファイルを選択してください。
設定ファイルのファイル名とディレクトリ名には、全角文字および半角カナが使用できないこ
設定ファイル
設定ファイル　参照...
パスワードを入力して復元　●●●●●●●●
復元実行

お知らせ

●「Web 設定」画面に「設定値の復元が実施できません。」と表示された場合は、パスワードが間違っている可能性があります。「設定値の復元」には、「設定値の保存」を行ったときの機器設定用パスワードが必要です。パスワード入力欄には、初期値として現在設定されている機器設定用パスワードが入力されていますので、保存時の機器設定用パスワードを入力し直してから、［復元実行］をクリックしてください。

7 ［OK］をクリックする

※本製品が再起動します。

お願い

●設定内容を保存したファイルを指定した後に［Enter］キーを押すと、すぐに復元が実行される場合があります。
ファイルを指定した後は［Enter］キーを押さずに、［復元実行］をクリックしてください。

お知らせ

●機器設定用パスワードは復元されません。
●お客様のご利用環境によっては設定値の保存・復元の際には時間がかかる場合があります。

10
付録

10-4 本製品の初期化

初期化とは、本製品に設定した内容を消去して、工場出荷状態に戻すことをいいます。

本製品が正常に動作しない場合や今までとは異なる回線に接続し直す場合、または機器設定用パスワードを忘れた場合には、本製品を初期化し、初めから設定をやり直すことをお勧めします。
「Web 設定」で初期化することもできます。詳細は、付属の専用 CD-ROM に収録されている「機能詳細ガイド」の「Web 設定について」の［メンテナンス］－［設定値の初期化］をご覧ください。
一度初期化すると、それまでに設定した値は全て消去され、工場出荷状態に戻りますのでご注意ください。

設定初期化について

本製品の初期化は、下記の手順で行います。

1. 一度本製品の電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜く
2. 本製品背面の初期化ボタンを押した状態で電源アダプタ（電源プラグ）を差し込む（初期化ボタンを 10 秒間押し続ける）
3. 起動後、動作モードランプが橙点滅になれば、初期化完了です。

※初期化が完了するまで本製品の電源アダプタは絶対に抜かないでください。故障の原因となることがあります。

お知らせ

- 本製品に設定する認証 ID［接続 ID など］や認証パスワード［接続パスワード など］は重要な個人情報です。情報を盗まれると悪用される可能性がありますので、情報の管理には十分お気を付けください。
- 一度初期化すると、それまでに設定した値は全て消去され、工場出荷状態に戻ります。設定内容をパソコンのハードディスクにバックアップファイルとして保存しておくことをお勧めします。「10-3 設定値の保存・復元」を参照してください。

10-5 仕様一覧

■ ハードウェア仕様

項　目		仕　様	
WANポート	物理インタフェース	8ピンモジュラージャック（RJ-45）	
	ポート数	1ポート	
	規格	1000BASE-T ／ 100BASE-TX ／ 10BASE-T (IEEE802.3ab ／ IEEE802.3u ／ IEEE802.3) オートネゴシエーション	
LANポート	物理インタフェース	8ピンモジュラージャック（RJ-45）	
	ポート数	4ポート（スイッチングハブ内蔵）	
	規格	1000BASE-T ／ 100BASE-TX ／ 10BASE-T (IEEE802.3ab ／ IEEE802.3u ／ IEEE802.3) オートネゴシエーション	
無線LANポート	IEEE802.11b	周波数帯域／チャネル	2.4 GHz帯（2400～2484 MHz）／ 1～13ch
		伝送方式	DS-SS（スペクトラム直接拡散）方式
		伝送速度	11/5.5/2/1 Mbps（自動切換）
	IEEE802.11g	周波数帯域／チャネル	2.4 GHz帯（2400～2484 MHz）／ 1～13ch
		伝送方式	OFDM（直交周波数分割多重）方式
		伝送速度	54/48/36/24/18/12/9/6 Mbps (自動切換)
	IEEE802.11n	周波数帯域／チャネル	2.4 GHz帯（2400～2484 MHz）／ 1～13ch
		伝送方式	OFDM（直交周波数分割多重）方式
		伝送速度	[HT20] 144.4/130/117/104/78/72.2/65/ 58.5/52/39/26/19.5/13/6.5 Mbps (自動切換) [HT40]（デュアルチャネル） 300/270/243/216/162/150/135/ 121.5/108/81/54/40.5/27/13.5 Mbps (自動切換)
	アンテナ	ダイバーシティ方式／送信2×受信2MIMO（内蔵）	

10 付録

ランプ 表示	電源ランプ	電源通電時：緑点灯
	アラームランプ	ソフトウェア更新時または装置障害時：赤点灯
	PPP ランプ	セッション接続中 (1 つ)：緑点灯 セッション接続中 (2 つ以上)：橙点灯
	光ネクスト ランプ	フレッツ光ネクスト回線利用可能時：緑点灯
	WAN ランプ	WAN 回線利用可能時：緑点灯 WAN 回線データ通信中：緑点滅
	動作モード ランプ	フレッツ光ネクスト優先モード設定時：緑点灯 インターネット優先モード設定時：橙点灯 工場出荷状態：橙点滅
	ソフト更新 ランプ	ソフトウェア更新有り通知時：橙点灯
	無線 LAN ランプ	無線 LAN 使用可能時：緑点灯 「無線 LAN 簡単接続機能 (WPS 機能)」設定中：橙点滅 「無線 LAN 簡単接続機能 (WPS 機能)」設定完了時：橙点灯 「無線 LAN 簡単接続機能 (WPS 機能)」設定失敗時：赤点滅
操作部	無線設定ボタン	無線 LAN 簡単接続設定（WPS 機能）用ボタン
	初期化ボタン	設定初期化用ボタン
筐体		縦置き壁掛け両用型
動作環境		温度：0 ～ 40 ℃　湿度：20 ～ 80 % (結露しないこと)
外形寸法		約 40（W）× 149（D）× 135（H）mm（突起部分を除く）
電源		AC100 V（50/60 Hz）
消費電力		最大 10 W 以下（電源アダプタ含む）
質量		0.4 kg 以下（電源アダプタ含まず）
電磁妨害波規格		VCCI クラス B

■ ソフトウェア仕様

項　　目		仕　　様
ルータ機能	IPv6/IPv4 共通機能	パケットフィルタリング ポリシールーティング SPI（ステートフル・パケット・インスペクション） DHCP サーバ DNS Proxy UPnP SNTP 優先制御
	IPv6 機能 IPv6 マルチキャスト機能	IPv6-NAT 転送レート制限機能 RA 転送抑止機能 MLDv2 Proxy MLD Snooping MLDv2 Fast-Leave/Per-Host-Tracking
	IPv4 機能	NAPT 静的 NAPT 静的 NAT LAN 側静的ルーティング
WAN 側機能	IPv6/IPv4 共通機能	PPPoE クライアント PPP キープアライブ 無通信監視タイマ PPPoE ブリッジ IPv6 over IPv4 トンネル
	IPv4 機能	PPPoE マルチセッション VPN パススルー（IPv4） IPv4 ブリッジ ローカルルータ
無線 LAN 機能	セキュリティ機能	マルチ SSID ESSID ステルス MAC アドレスフィルタリング ポートセパレート
	暗号化機能	【SSID-1】 暗号なし、WPA2-PSK(AES)、 WPA-PSK/WPA2-PSK（TKIP/AES） 【SSID-2】 WEP（64bit）、WEP（128bit）、WPA-PSK(TKIP)、 WPA-PSK(AES)、WPA2-PSK(TKIP)、 WPA2-PSK(AES)、WPA-PSK/WPA2-PSK(TKIP/AES)
	その他無線機能	自動無線チャネル設定 電波強度測定 無線 LAN 簡単接続機能（WPS 機能）
設定・保守機能		Web ブラウザによる設定・保守 機器設定用パスワード設定 自動ファームウェア更新 各種状態表示 各種ログ情報 設定情報の保存・復元 ログ情報ファイル出力 PING 送受信 時刻設定（SNTP ／手動）